

北斗市
福祉に関するアンケート調査
報告書

令和5年11月
北斗市

— 目 次 —

調 査 概 要	1
調 査 結 果	3
あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて	3
あなたの障がいの状況について	8
住まいや暮らしについて	12
日中活動や就労について	14
相談相手について	19
障害福祉サービス等の利用について	20
権利擁護について	24
災害時の避難等について	25
障害福祉施策等について	27
調 査 総 括	29

調査概要

調査の目的

令和5年度に行う「第7期北斗市障がい者福祉計画・第3期北斗市障がい児福祉計画」策定の基礎資料として、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握することを目的として実施しました。

調査対象者

	手帳所持者数	構成率	うち調査対象者数	構成率
身体障害者	1,866人	64.9%	1,000人	66.7%
知的障害者	657人	22.9%	310人	20.7%
精神障害者	352人	12.2%	190人	12.7%
合計	2,875人		1,500人	

調査方法

郵送による配布・回収調査

調査期間

令和5年8月～9月

回収状況

	調査対象者数	構成率	うち回答者数	構成率
身体障害者	1,000人	66.7%	557人	69.0%
知的障害者	310人	20.7%	160人	19.8%
精神障害者	190人	12.7%	90人	11.2%
合計	1,500人		807人	
※うち、複数の手帳を所持している方			30人	
※実回答者数			777人	

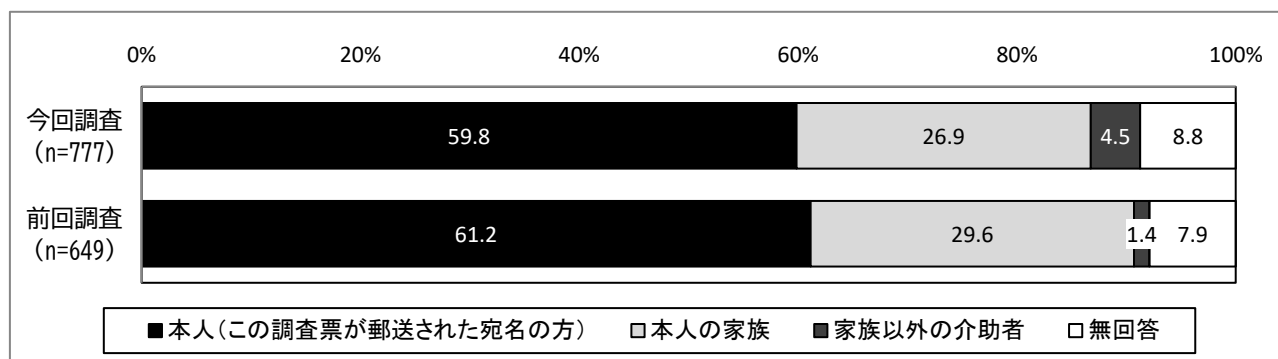
報告書利用上の注意

- 端数処理の関係上、構成比（％）の計が100%とならないことがあります。
- 図表の構成比（％）は小数第2位以下を四捨五入したものです。
- 複数回答の設問は、すべての構成比（％）を合計すると100%を超える場合があります。

調査結果

問1 お答えいただくのは、どなたですか。

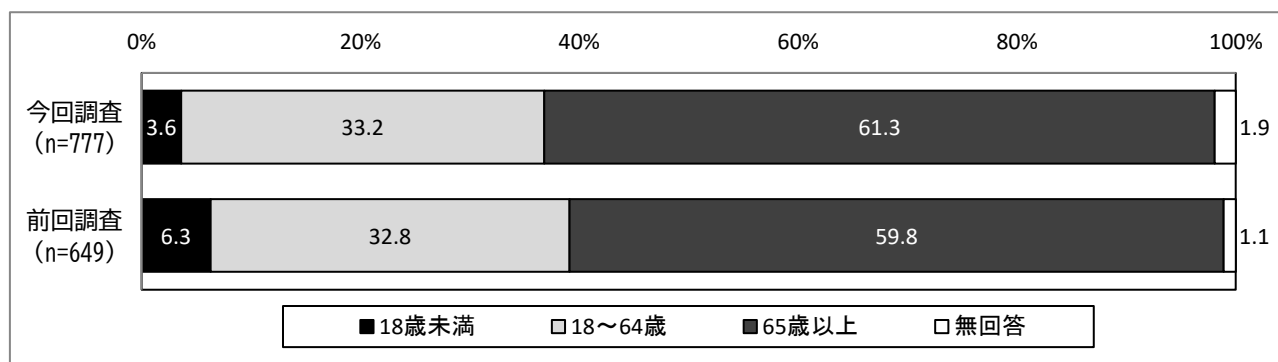
「本人（この調査票が郵送された宛名の方）」が59.8%、「本人の家族」が26.9%となっています。



あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

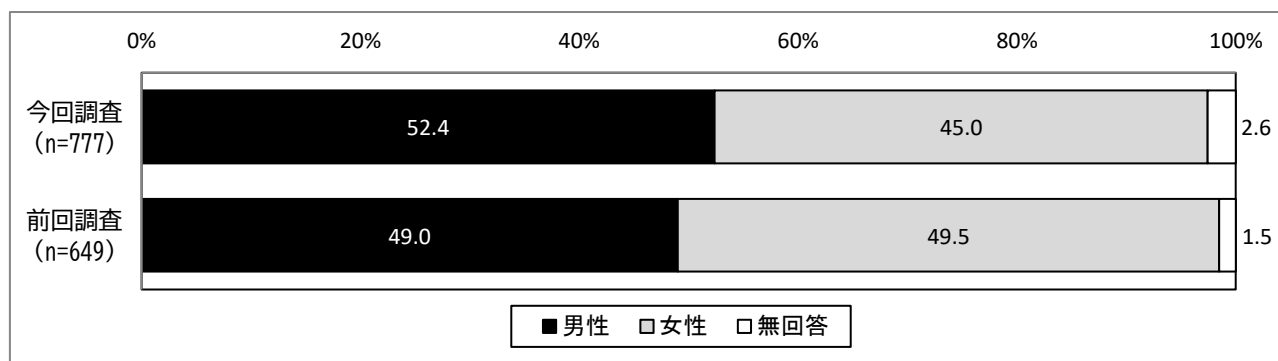
問2 あなたの年齢を教えてください。（令和5年8月1日現在）

「65歳以上」が61.3%で最も多く、次いで「18～64歳」33.2%、「18歳未満」3.6%の順となっています。



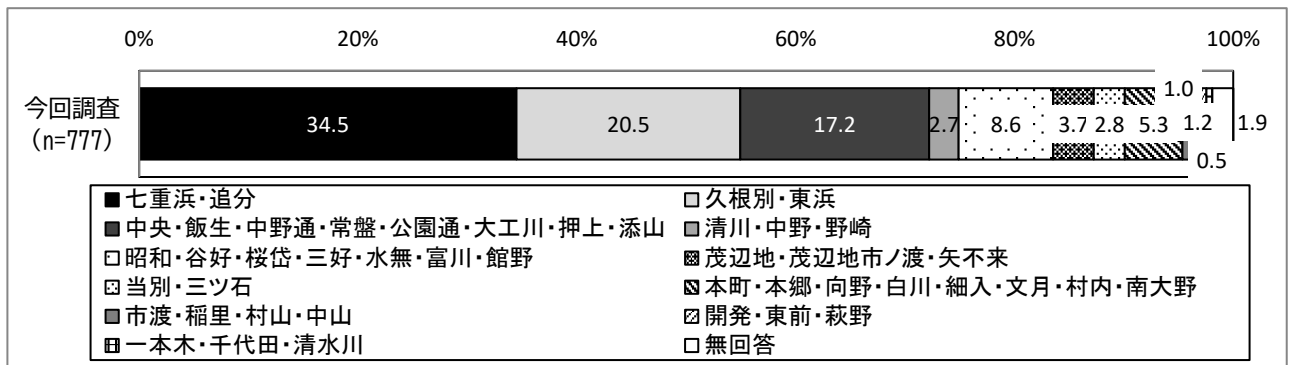
問3 あなたの性別をお答えください。

「男性」が52.4%、「女性」が45.0%となっています。



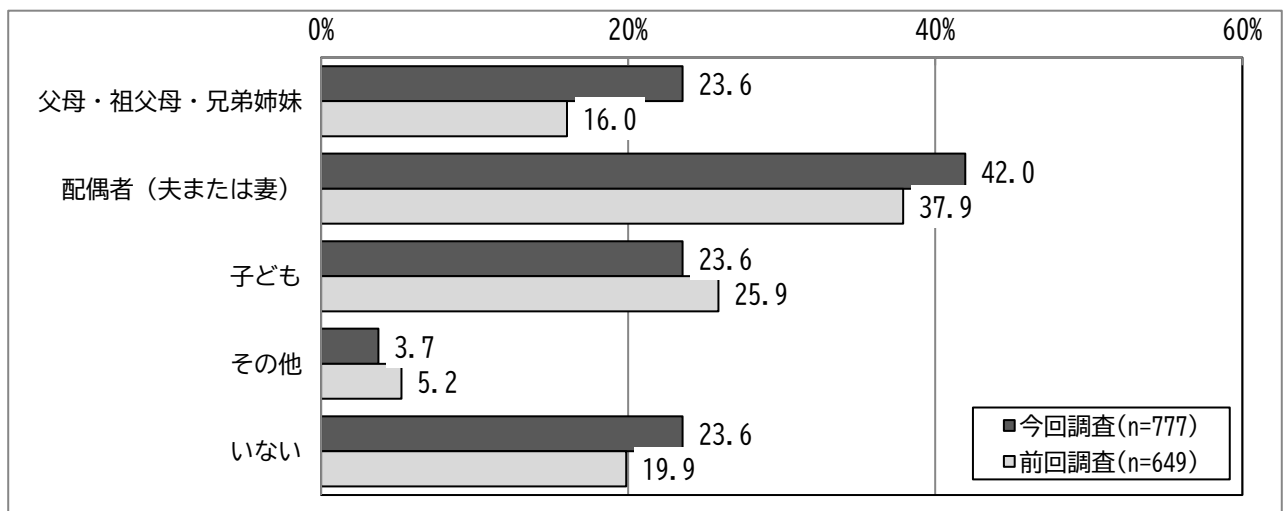
問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。

「七重浜・追分」が34.5%で最も多く、次いで「久根別・東浜」20.5%、「中央・飯生・中野通・常盤・公園通・大工川・押上・添山」17.2%の順となっています。

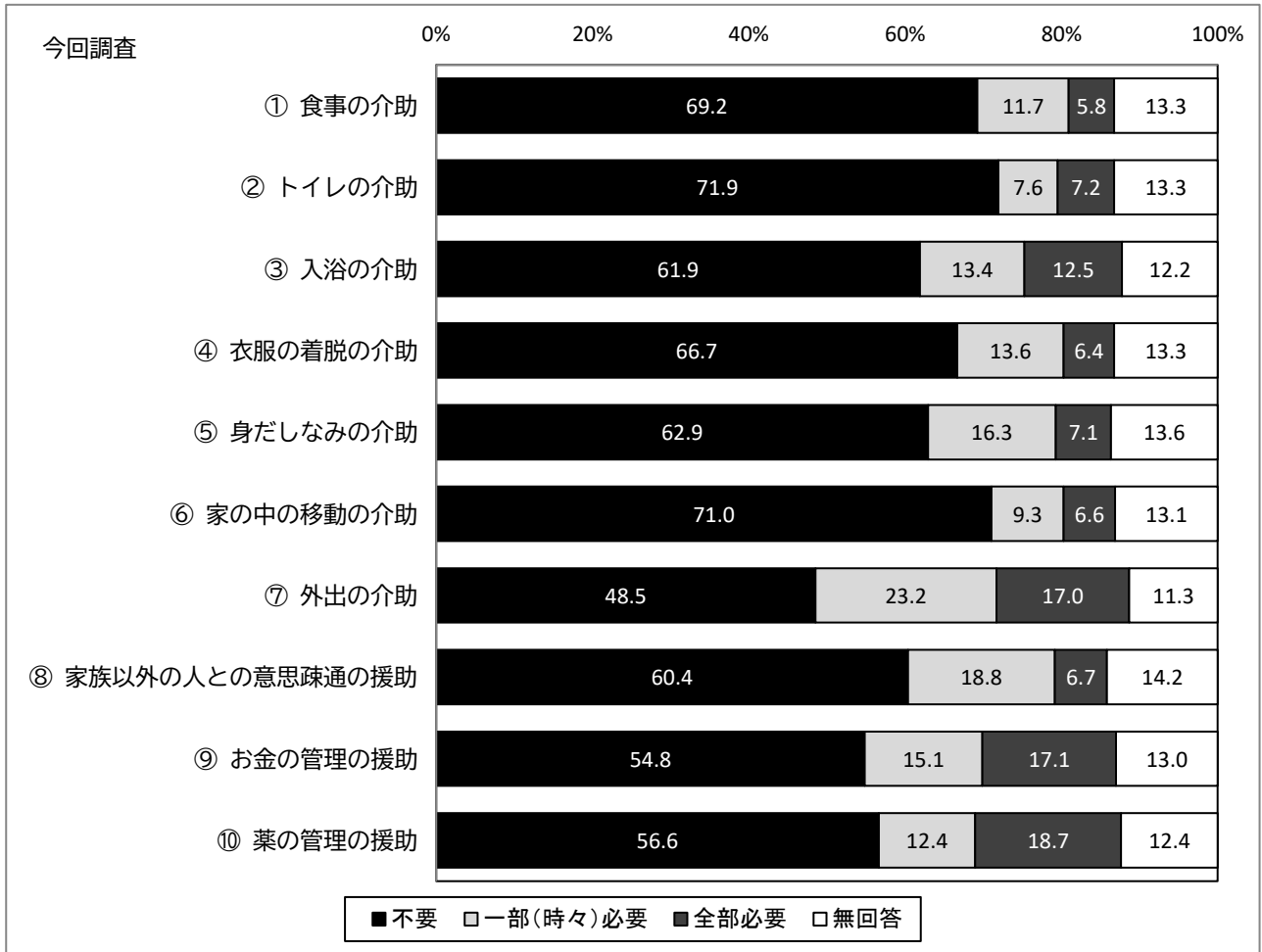


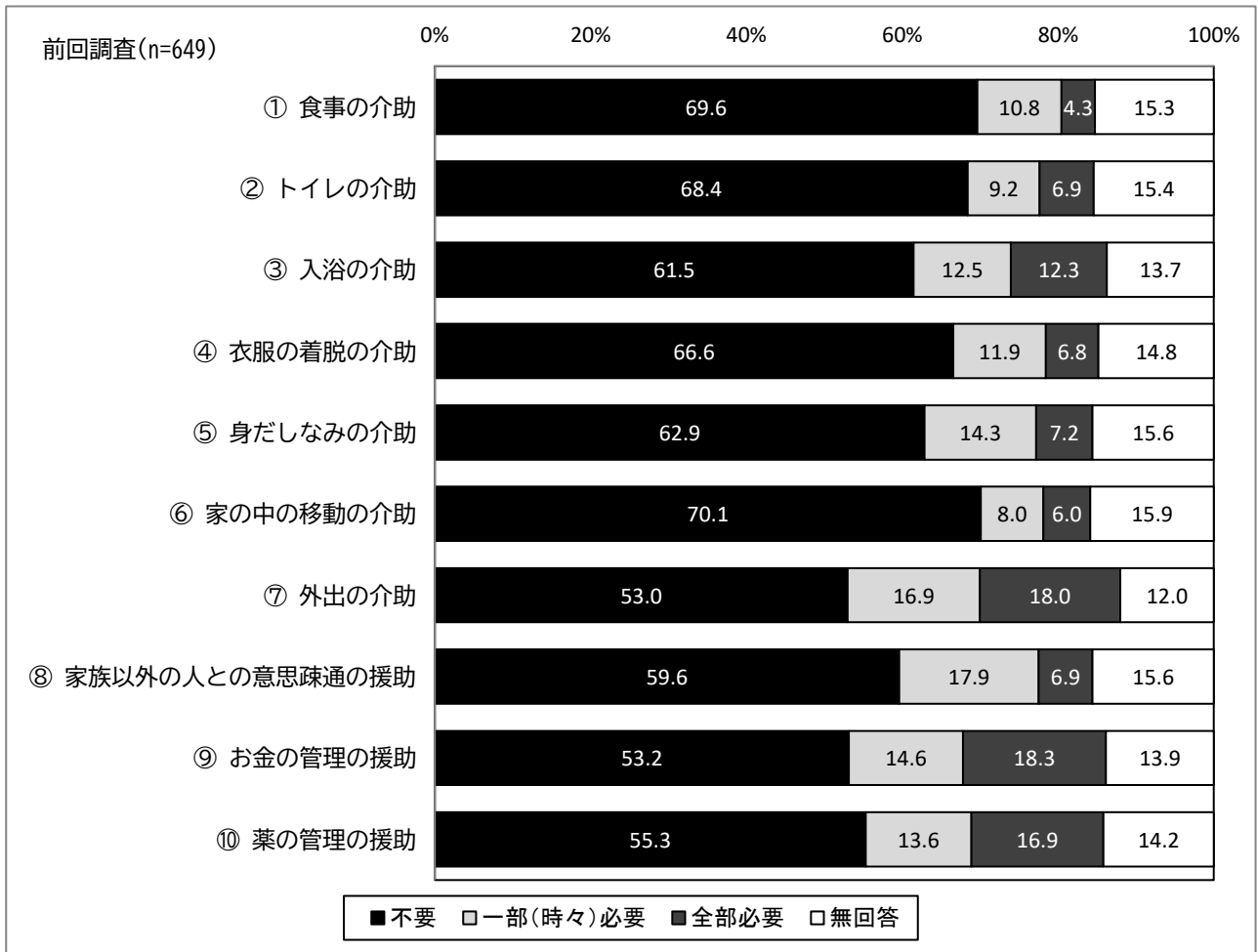
問5 いま、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。（複数回答）

「配偶者（夫または妻）」が42.0%で最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」「子ども」「いない」23.6%、「その他」3.7%の順となっています。



問6 あなたは、日常生活の中で、次の支援が必要ですか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

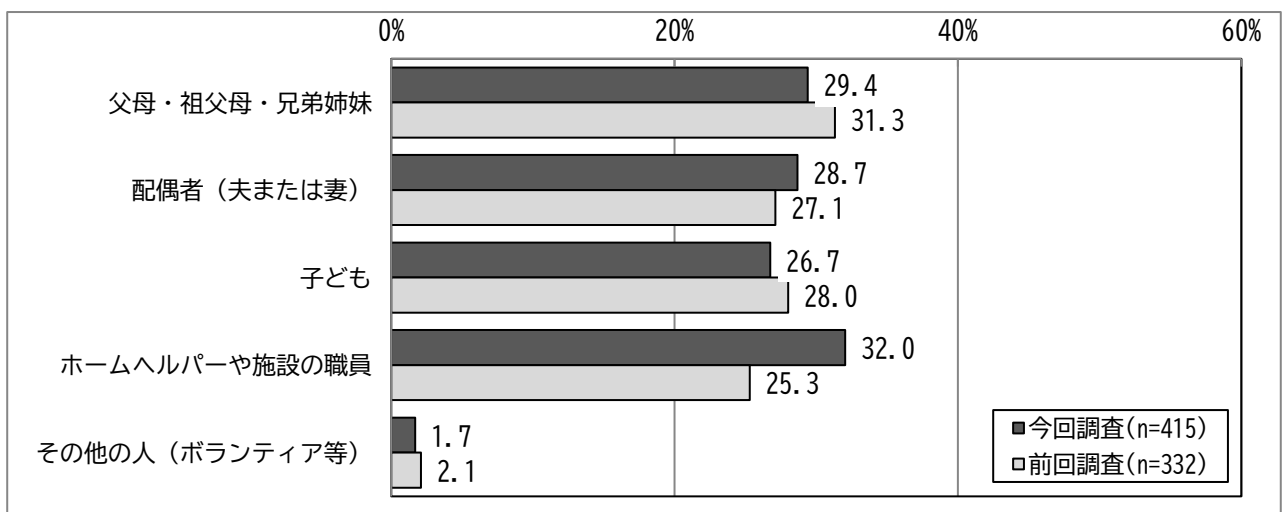




問6で1つでも「一部(時々)必要」又は「全部必要」と答えた方がお答えください。

問7 あなたを支援してくれる方は主に誰ですか。(複数回答)

「ホームヘルパーや施設の職員」が32.0%で最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」29.4%、「配偶者(夫または妻)」28.7%の順となっています。

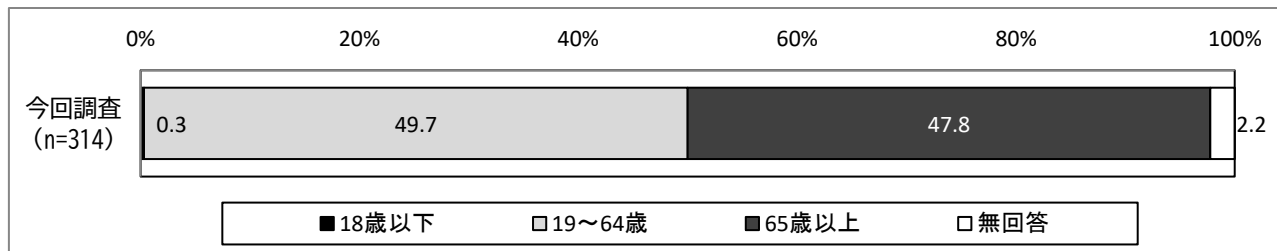


問7で1.～3.を答えた方がお答えください

問8-1 あなたを主に支援してくれる家族の年齢、性別、健康状態をお答えください。

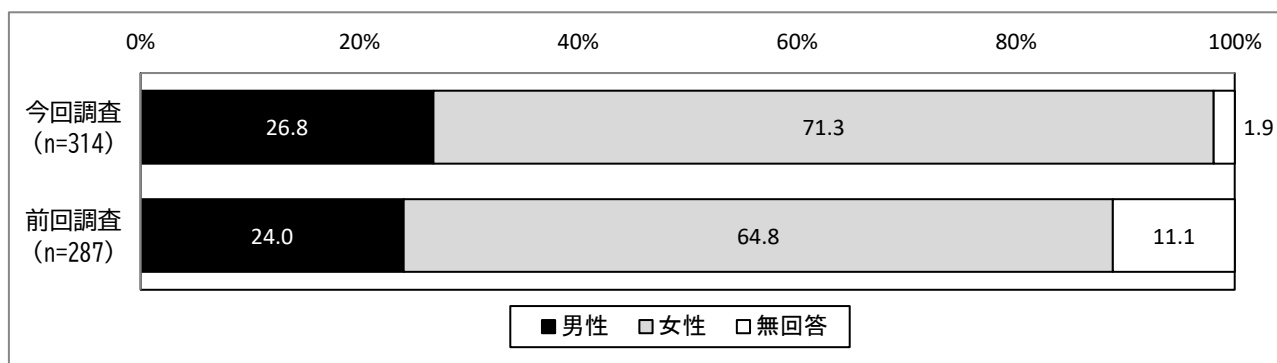
①年齢（令和5年8月1日現在）

「65歳未満」が50.0%、「65歳以上」が47.8%となっています。
 「19～64歳」が49.7%で最も多く、次いで「65歳以上」47.8%、「18歳以下」0.3%の順となっています。



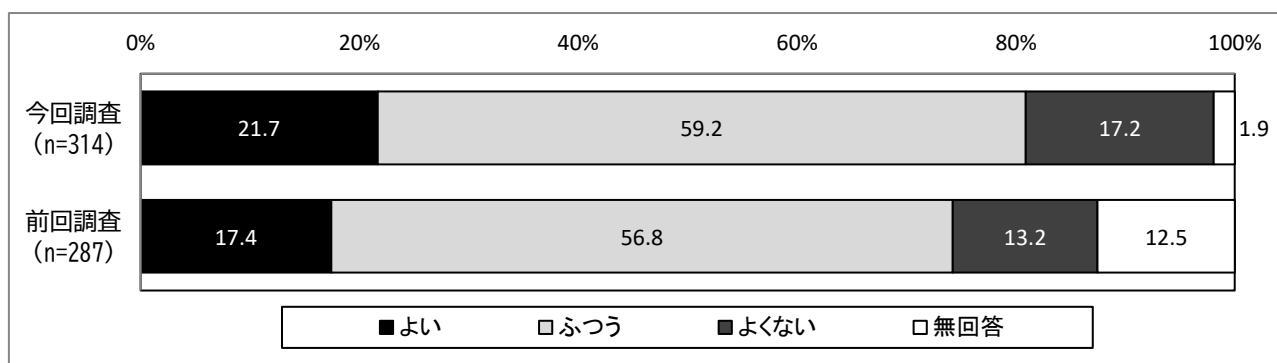
②性別

「男性」が26.8%、「女性」が71.3%となっています。



③健康状態

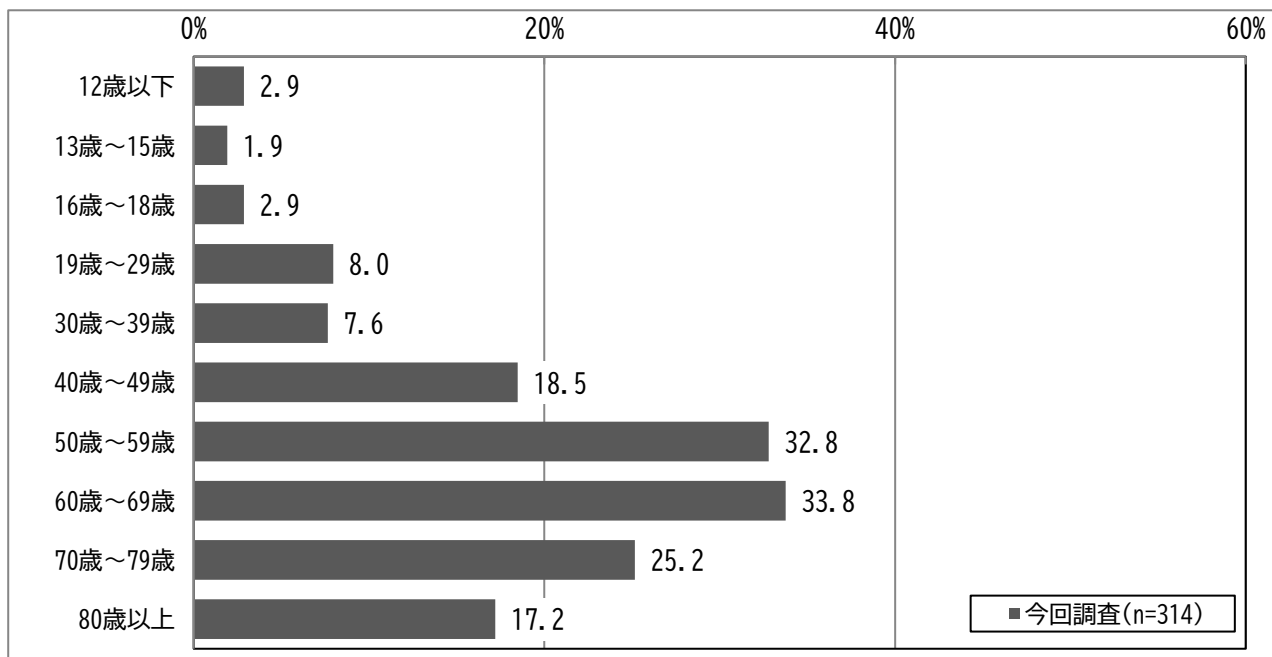
「ふつう」が59.2%で最も多く、次いで「よい」21.7%、「よくない」17.2%の順となっています。



問7で1.～3.を答えた方がお答えください

問8-2 あなたを支援してくれる家族全員の年齢（令和5年8月1日現在）をお答えください。（複数回答）

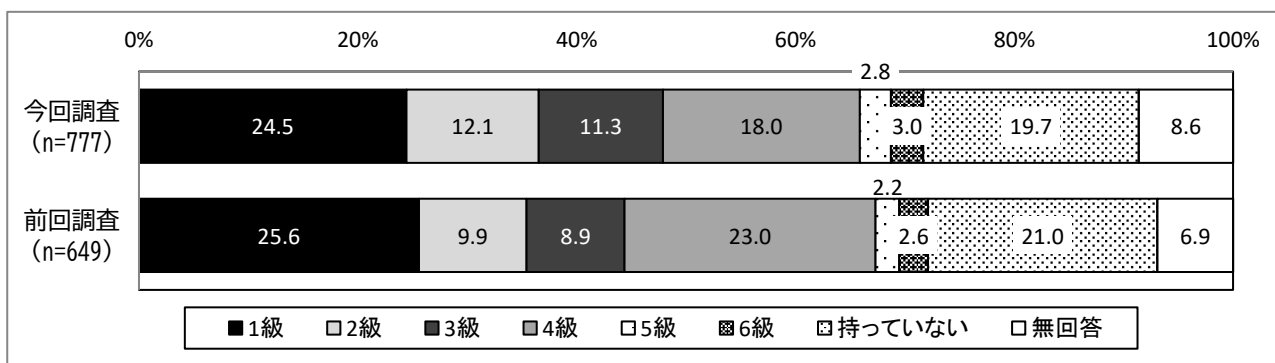
「60歳～69歳」が33.8%で最も多く、次いで「50歳～59歳」32.8%、「70歳～79歳」25.2%の順となっています。



あなたの障がいの状況について

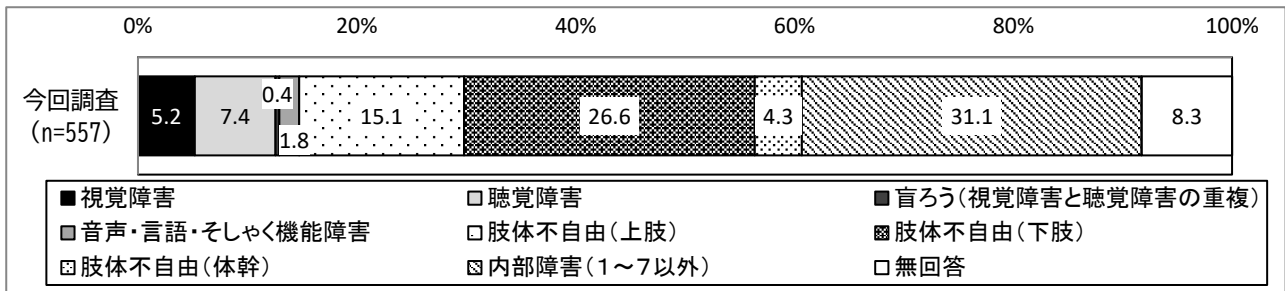
問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。

「1級」が24.5%で最も多く、次いで「持っていない」19.7%、「4級」18.0%の順となっています。



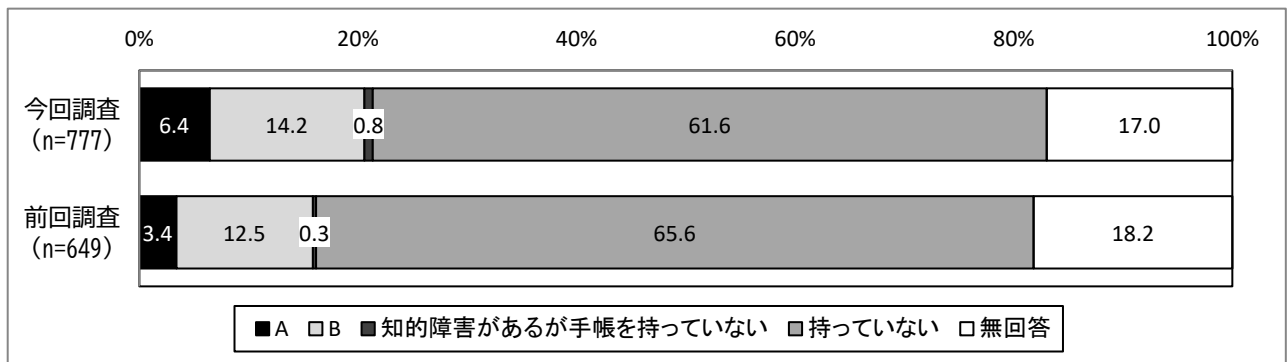
問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。

「内部障害（1～7以外）」が31.1%で最も多く、次いで「肢体不自由（下肢）」26.6%、「肢体不自由（上肢）」15.1%の順となっています。



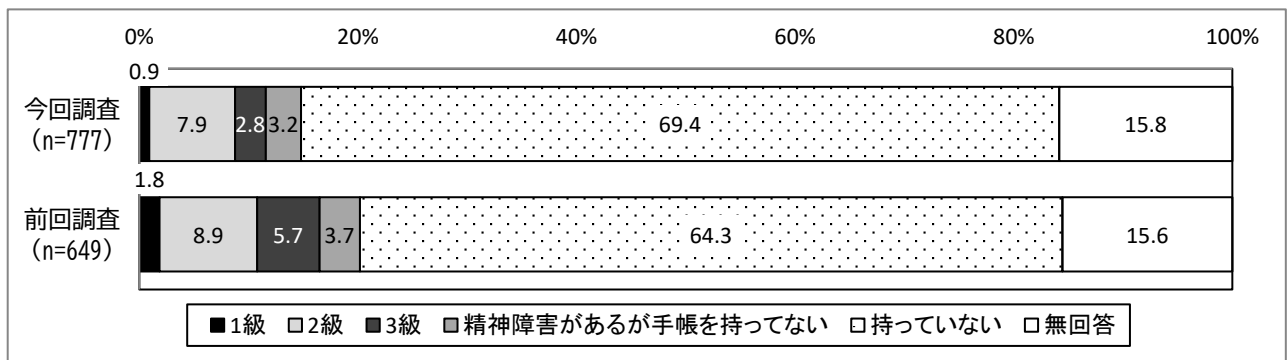
問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。

「持っていない」が61.6%で最も多く、次いで「B」14.2%、「A」6.4%の順となっています。



問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

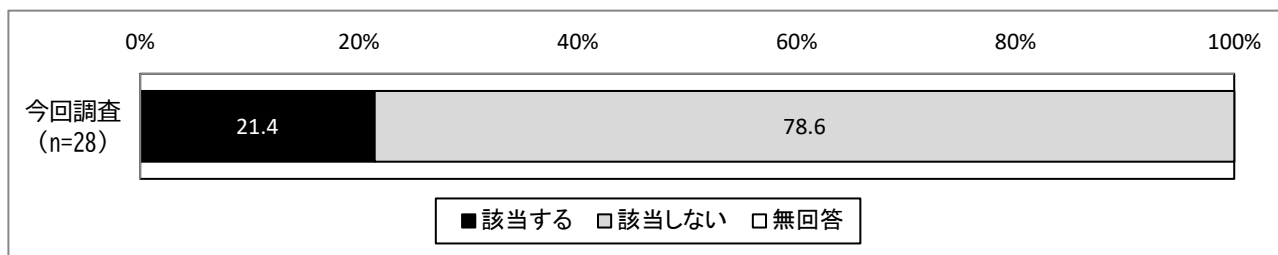
「持っていない」が69.4%で最も多く、次いで「2級」7.9%、「精神障害があるが手帳を持ってない」3.2%の順となっています。



問13は18歳未満の方のみお答えください。

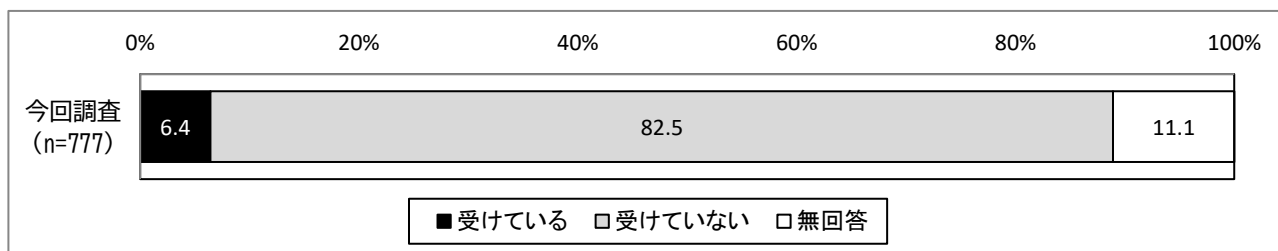
問13 あなたは重症心身障害に該当しますか。

「該当する」が21.4%、「該当しない」が78.6%となっています。



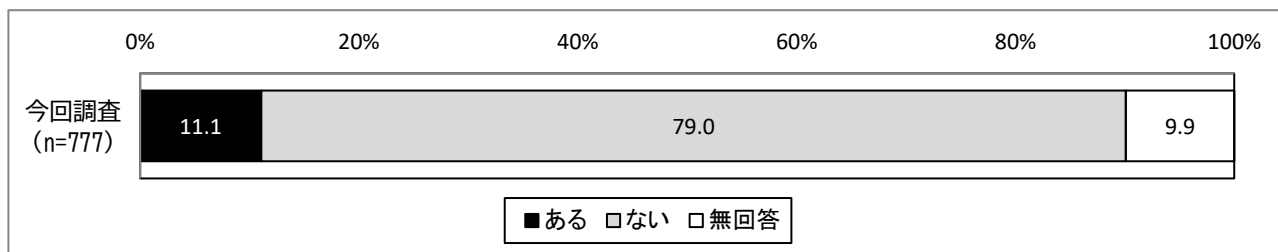
問14 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。

「受けている」が6.4%、「受けていない」が82.5%となっています。



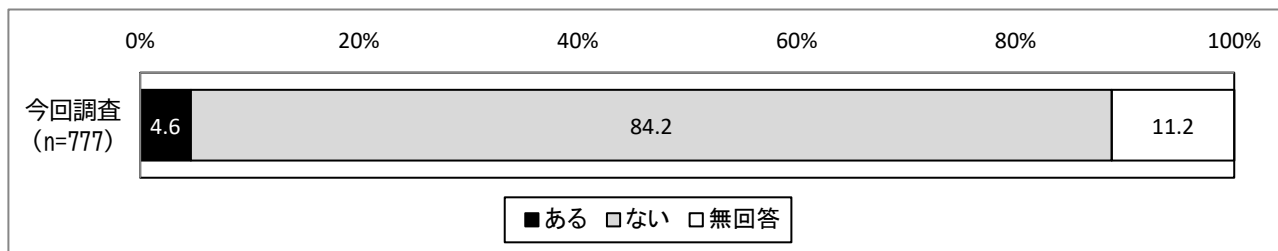
問15 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。

「ある」が11.1%、「ない」が79.0%となっています。



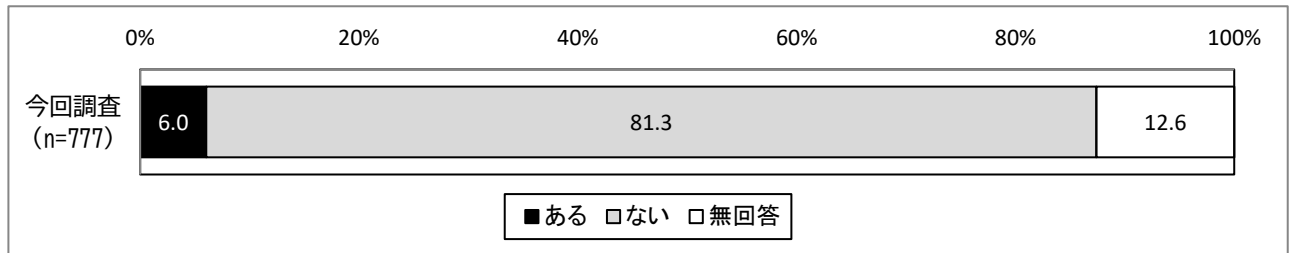
問16 あなたは強度行動障害があると言われたことはありますか。

「ある」が4.6%、「ない」が84.2%となっています。



問17 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。

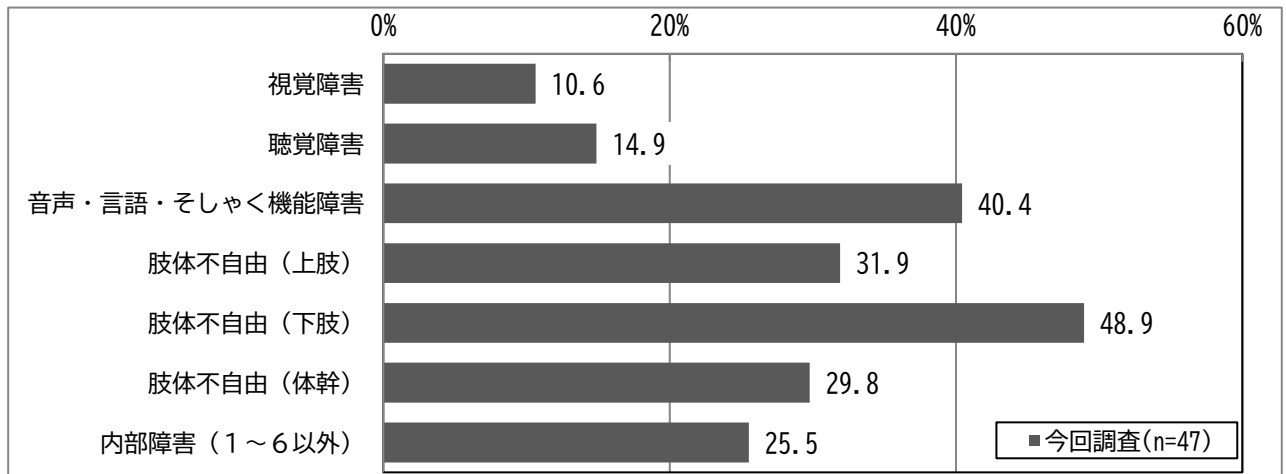
「ある」が6.0%、「ない」が81.3%となっています。



問17で「ある」を選択された方がお答えください。

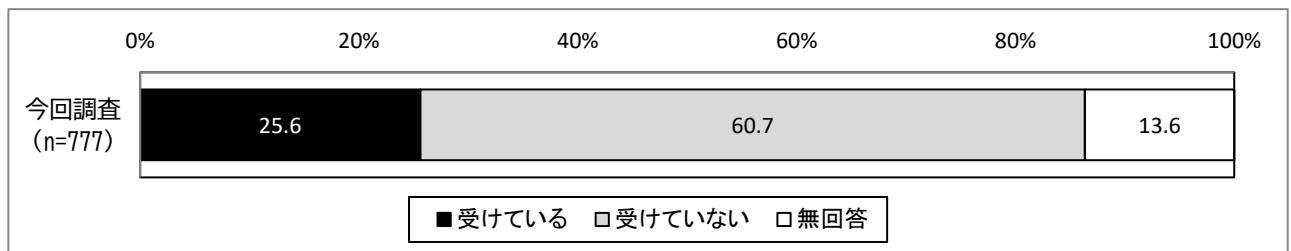
問18 その関連障害をお答えください。（複数回答）

「肢体不自由（下肢）」が48.9%で最も多く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」40.4%、「肢体不自由（上肢）」31.9%の順となっています。



問19 あなたは現在医療的ケアを受けていますか。

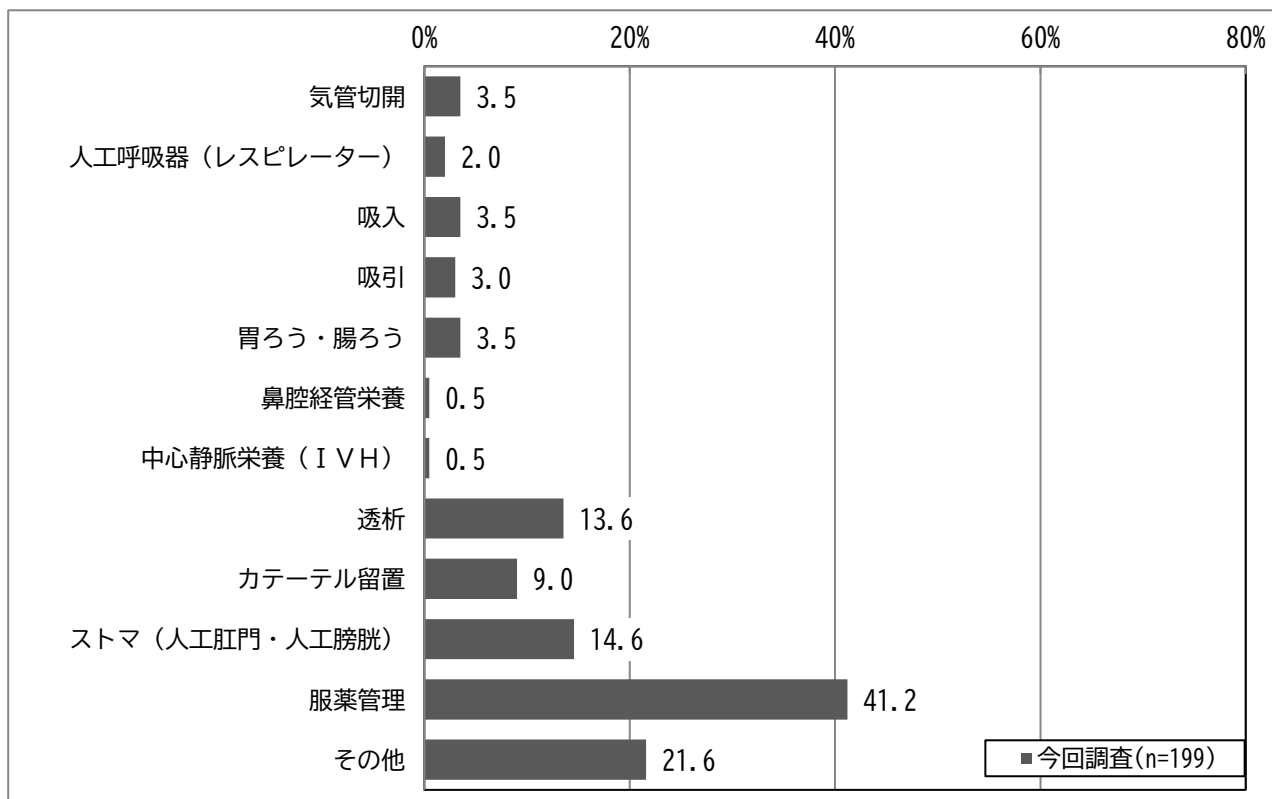
「受けている」が25.6%、「受けていない」が60.7%となっています。



問19で「受けている」を選択された方がお答えください。

問20 あなたが現在受けている医療的ケアをご回答ください。（複数回答）

「服薬管理」が41.2%で最も多く、次いで「その他」21.6%、「ストマ（人工肛門・人工膀胱）」14.6%の順となっています。

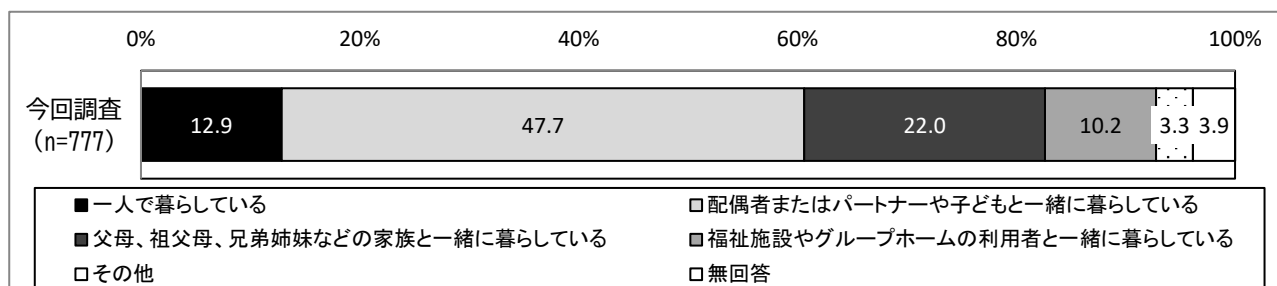


住まいや暮らしについて

問21 あなたは現在どのように暮らしていますか。

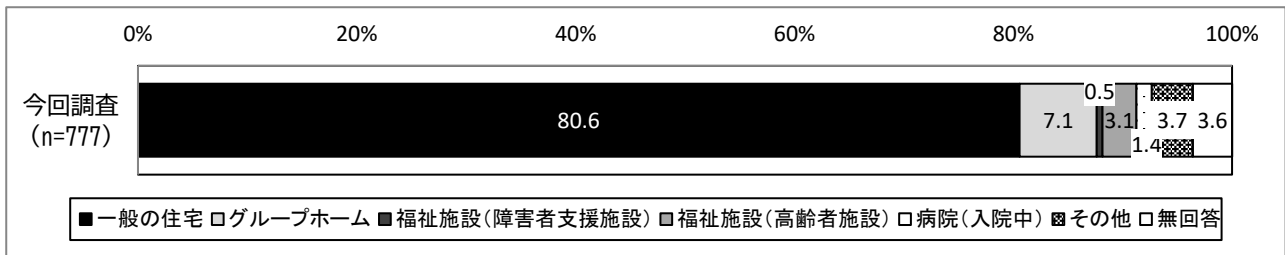
(1) 一緒に暮らしている人の有無

「配偶者またはパートナーや子どもと一緒に暮らしている」が47.7%で最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている」22.0%、「一人で暮らしている」12.9%の順となっています。



(2) 暮らしている場所

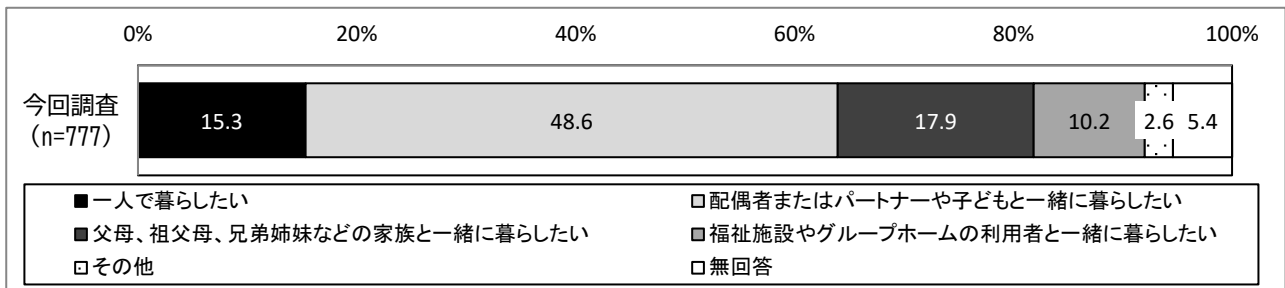
「一般の住宅」が80.6%で最も多く、次いで「グループホーム」7.1%、「その他」3.7%の順となっています。



問22 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。

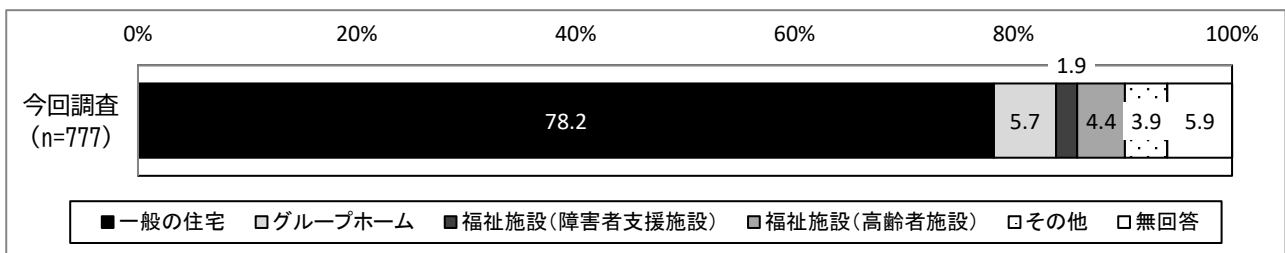
(1) 一緒に暮らしたい人の有無

「配偶者またはパートナーや子どもと一緒に暮らしたい」が48.6%で最も多く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい」17.9%、「一人で暮らしたい」15.3%の順となっています。



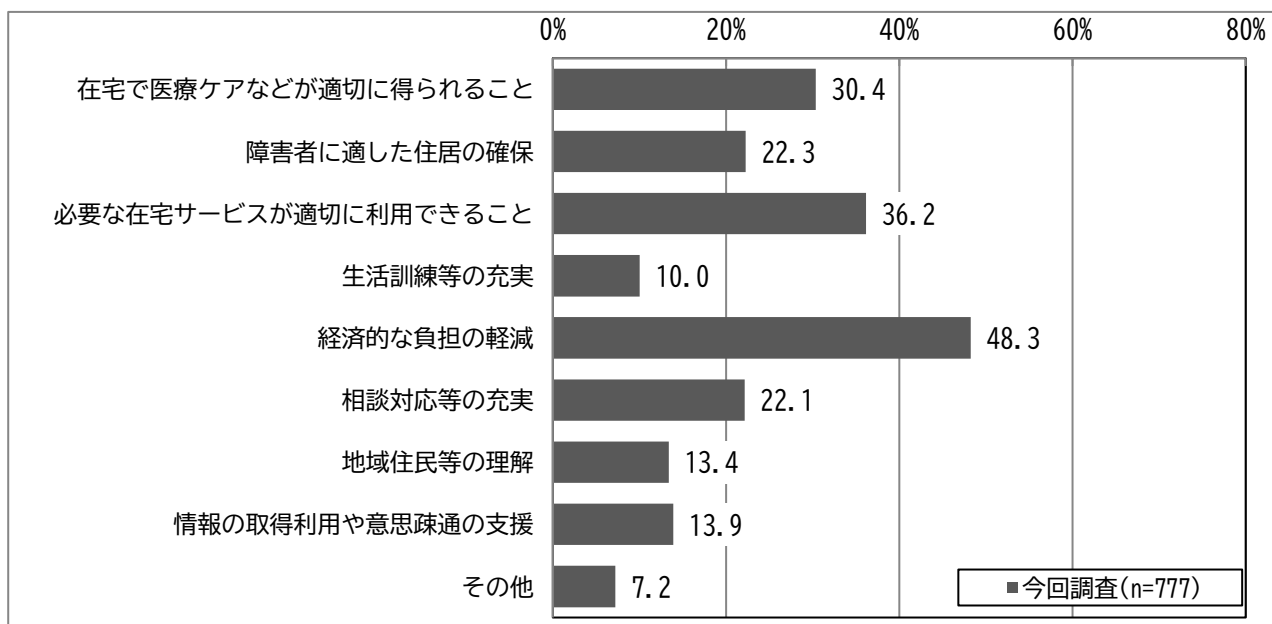
(2) 暮らしたい場所

「一般の住宅」が78.2%で最も多く、次いで「グループホーム」5.7%、「福祉施設(高齢者施設)」4.4%の順となっています。



問23 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。（複数回答）

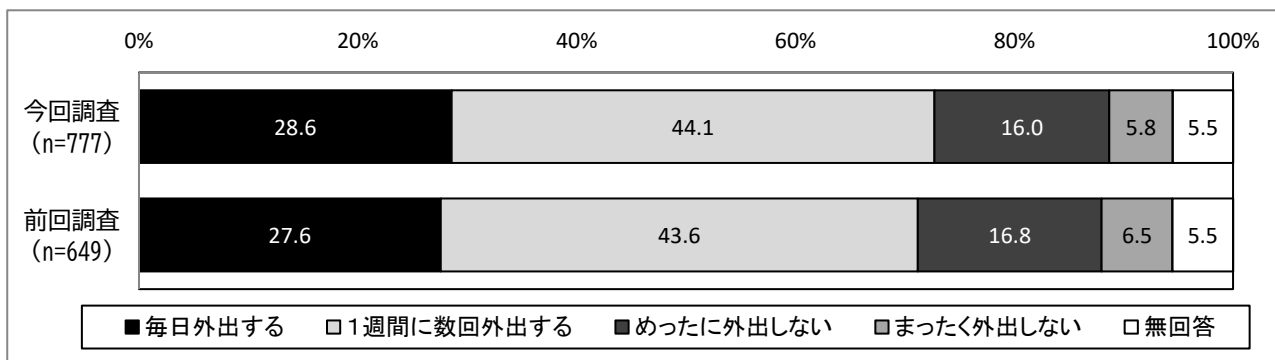
「経済的な負担の軽減」が48.3%で最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」36.2%、「在宅で医療ケアなどが適切に得られること」30.4%の順となっています。



日中活動や就労について

問24 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。

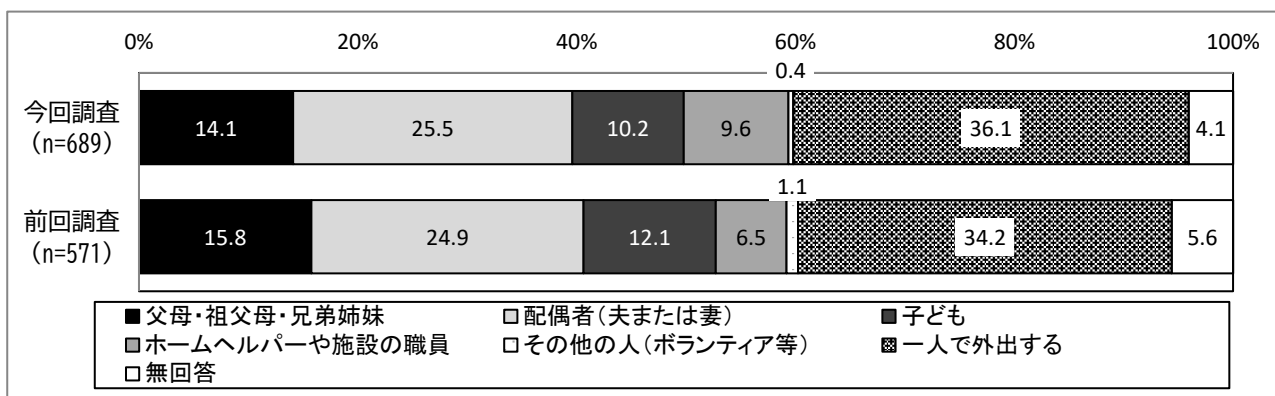
「1週間に数回外出する」が44.1%で最も多く、次いで「毎日外出する」28.6%、「めったに外出しない」16.0%の順となっています。



問25から問27は、問24で、4. 以外を選択した方がお答えください。

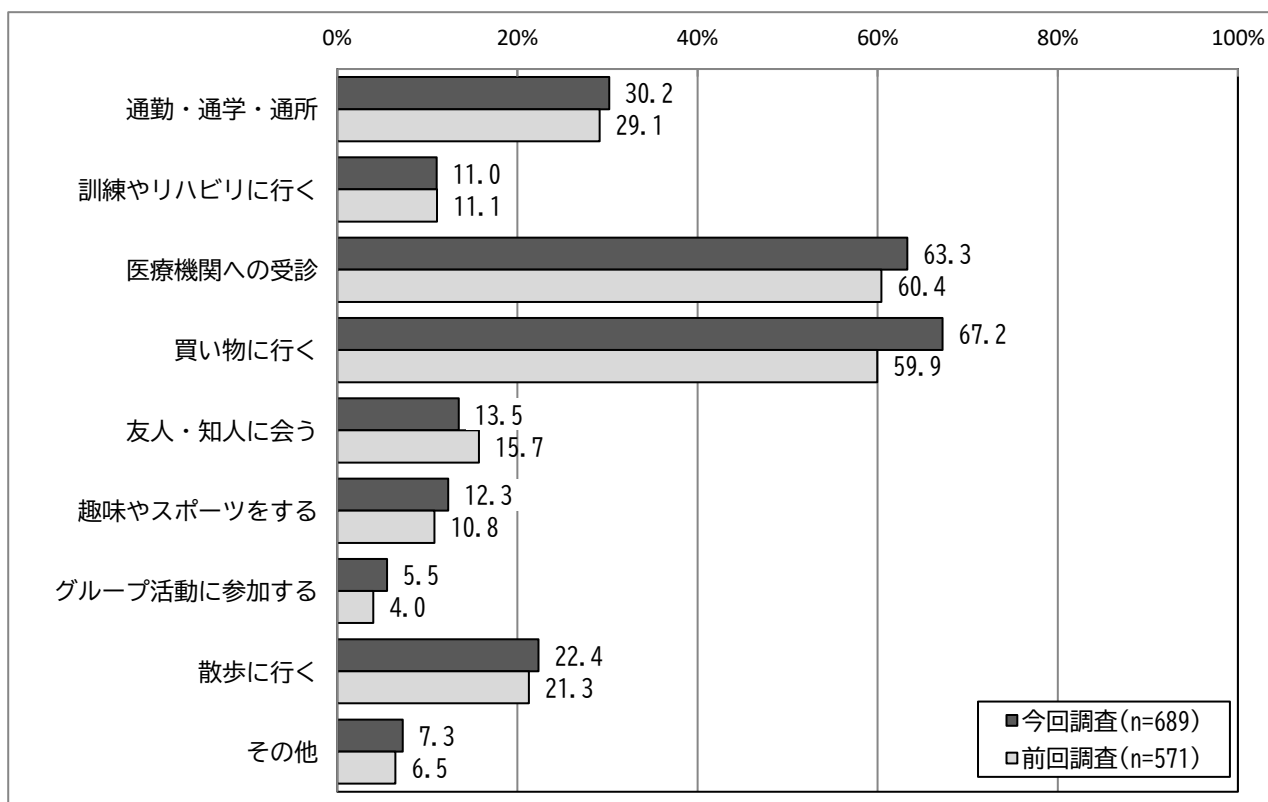
問25 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。

「一人で外出する」が36.1%で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」25.5%、「父母・祖父母・兄弟姉妹」14.1%の順となっています。



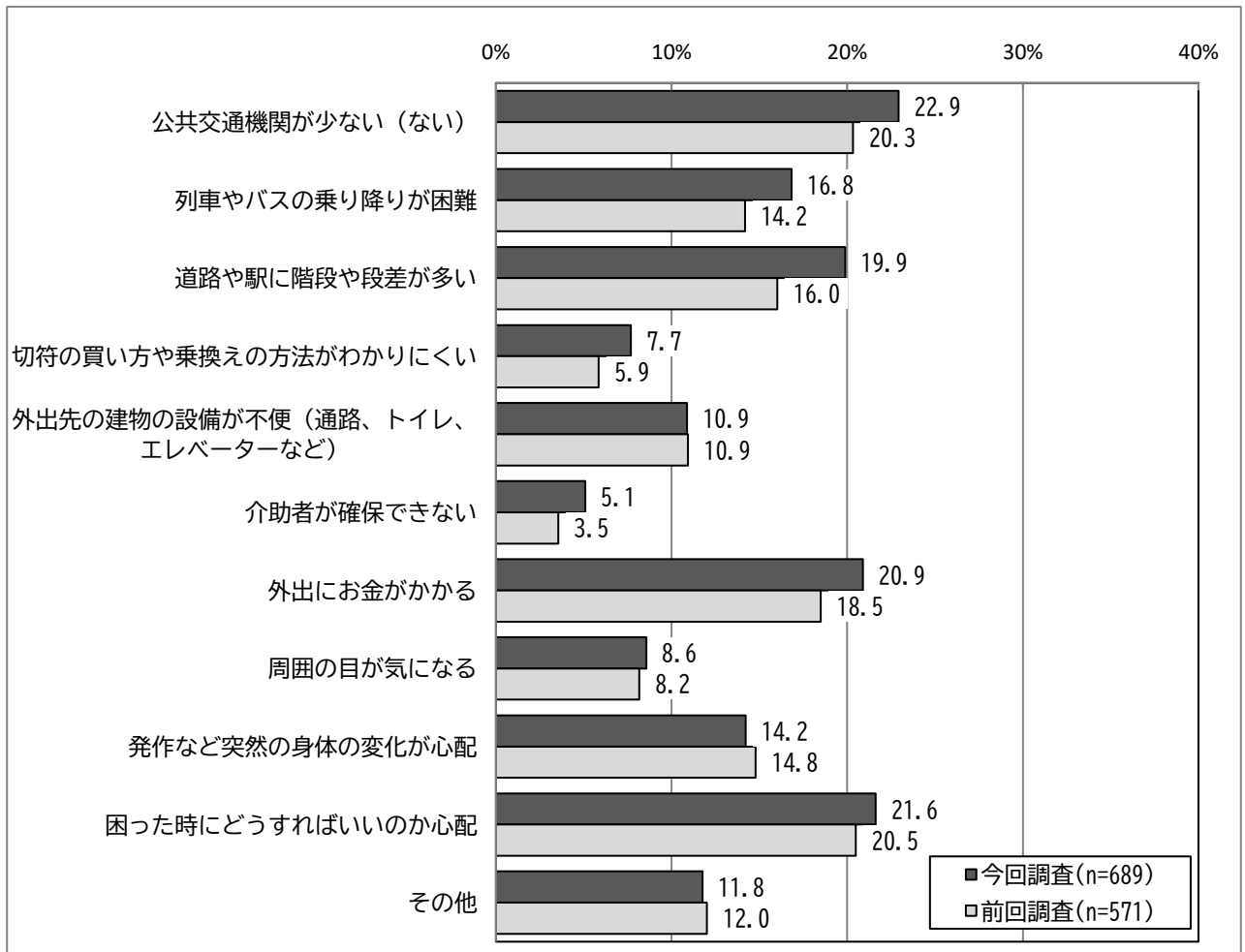
問26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（複数回答）

「買い物に行く」が67.2%で最も多く、次いで「医療機関への受診」63.3%、「通勤・通学・通所」30.2%の順となっています。



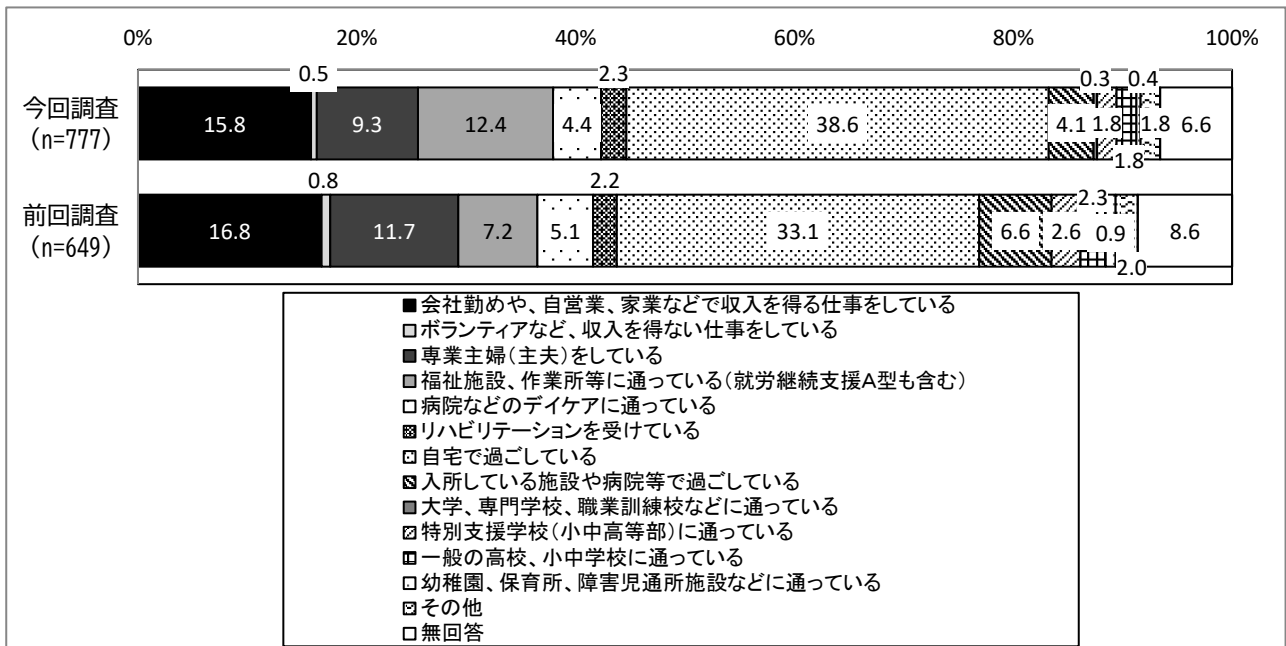
問27 外出する時に困ることは何ですか。（複数回答）

「公共交通機関が少ない（ない）」が22.9%で最も多く、次いで「困った時にどうすればいいの心配」21.6%、「外出にお金がかかる」20.9%の順となっています。



問28 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

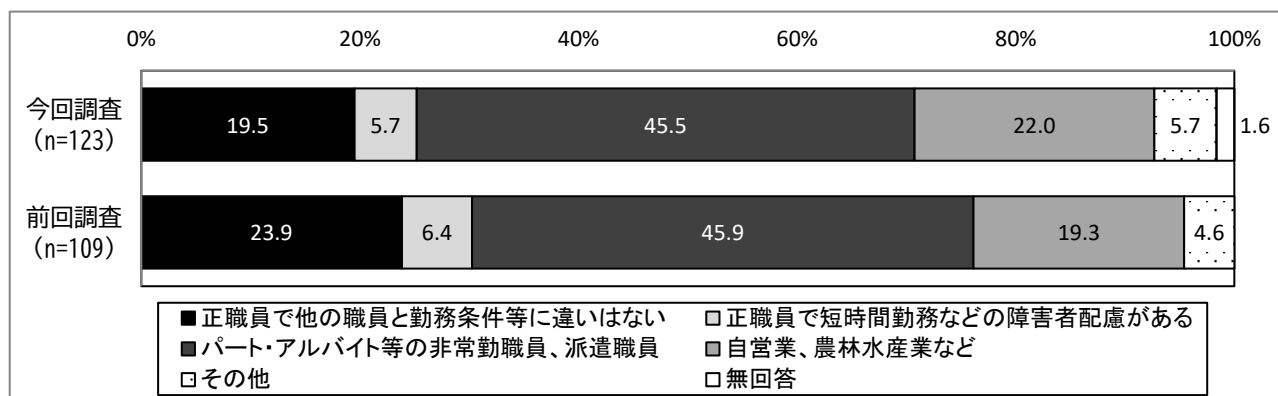
「自宅で過ごしている」が38.6%で最も多く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」15.8%、「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」12.4%の順となっています。



問29は、問28で1. を選択した場合にお答えください。

問29 どのような勤務形態で働いていますか。

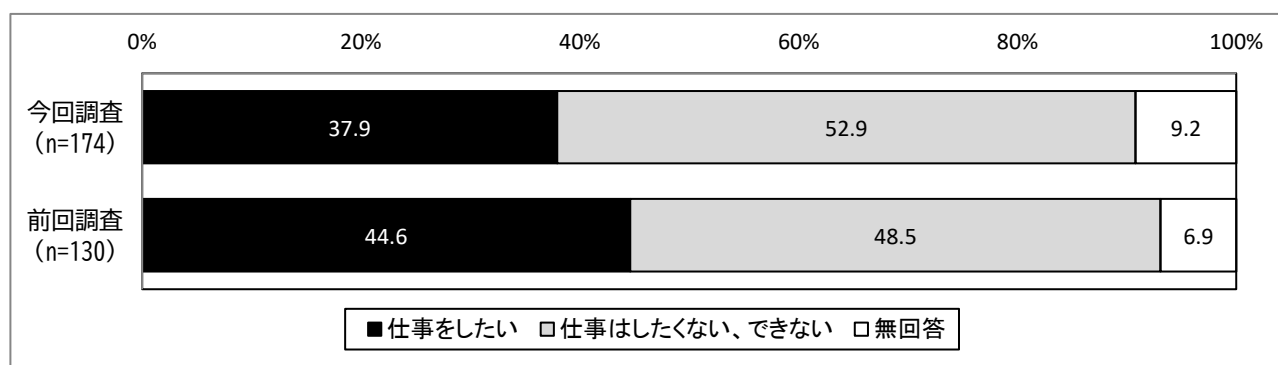
「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が45.5%で最も多く、次いで「自営業、農林水産業など」22.0%、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」19.5%の順となっています。



問30は、問28で1. 以外を選択した18～64歳の方がお答えください。

問30 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。

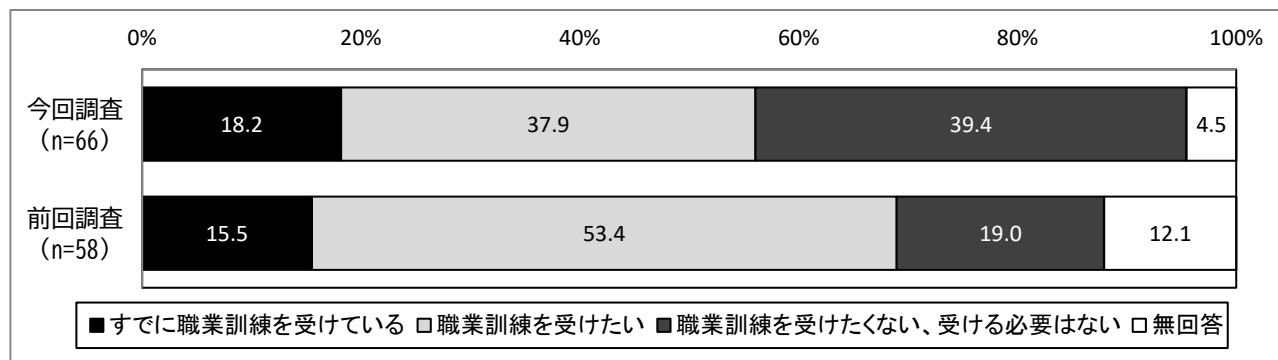
「仕事をしたい」が37.9%、「仕事はしたくない、できない」が52.9%となっています。



問31は、問30で1. を選択した方がお答えください。

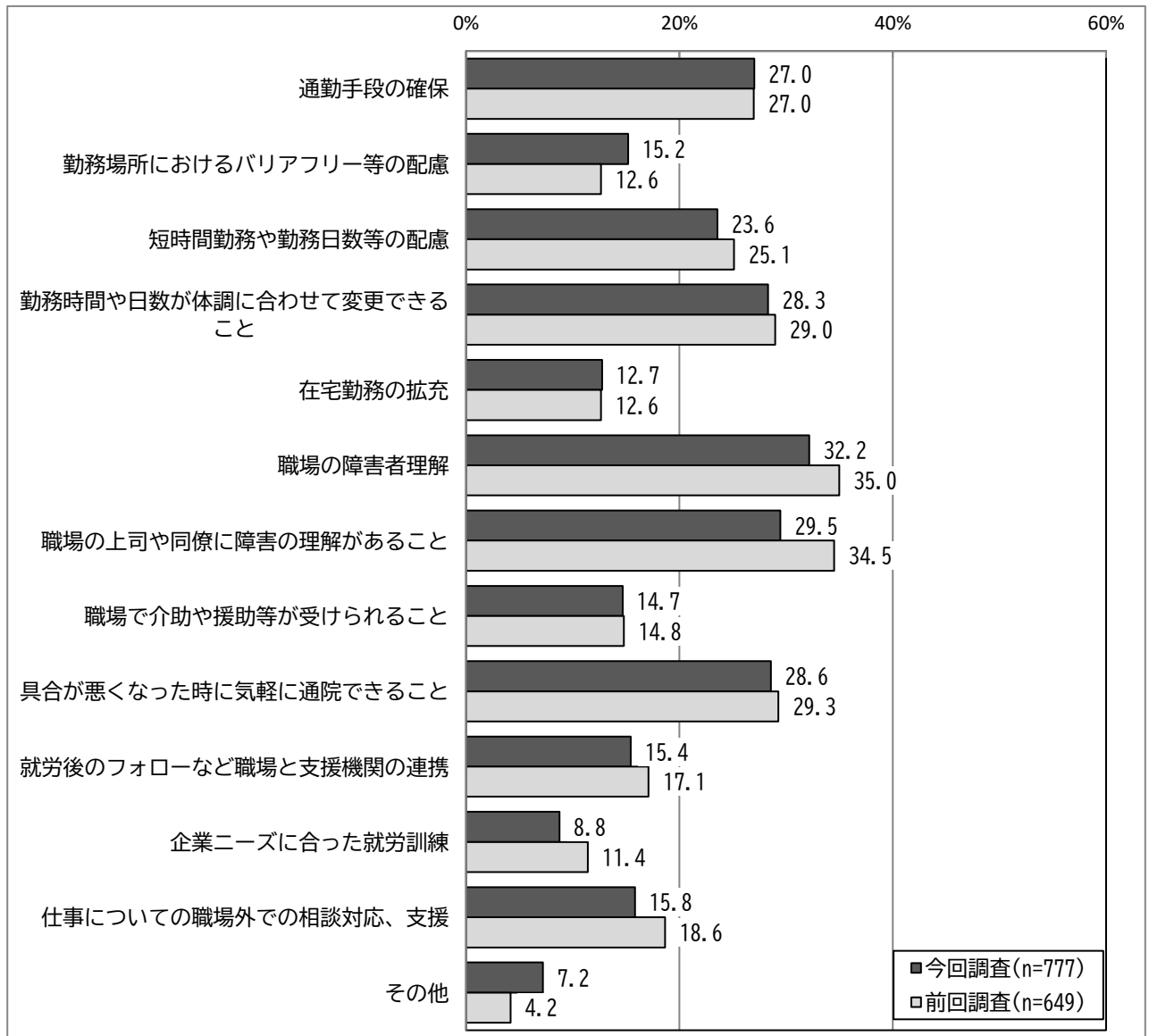
問31 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。

「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が39.4%で最も多く、次いで「職業訓練を受けたい」37.9%、「すでに職業訓練を受けている」18.2%の順となっています。



問32 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

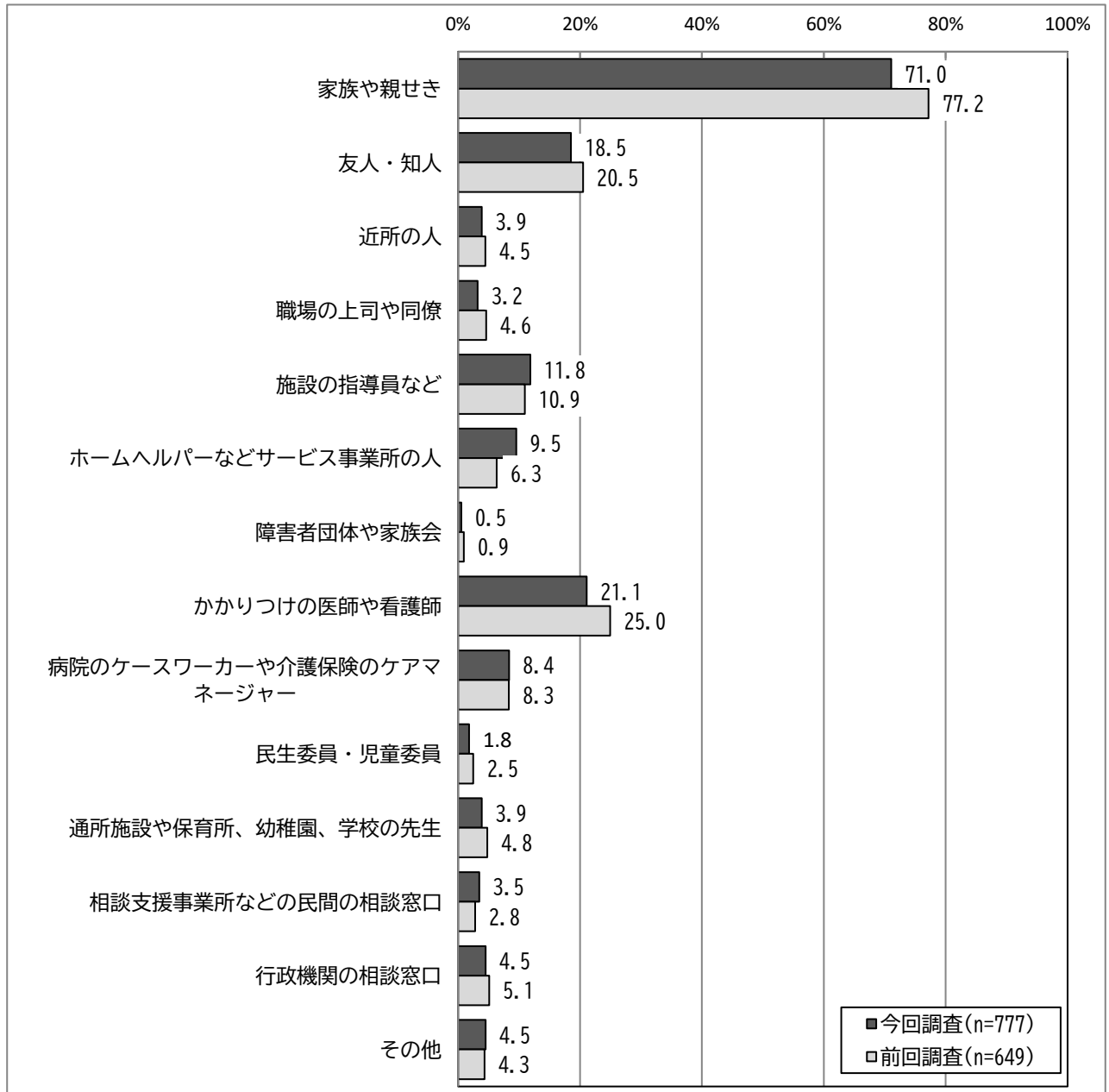
「職場の障害者理解」が32.2%で最も多く、次いで「職場の上司や同僚に障害の理解があること」29.5%、「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」28.6%の順となっています。



相談相手について

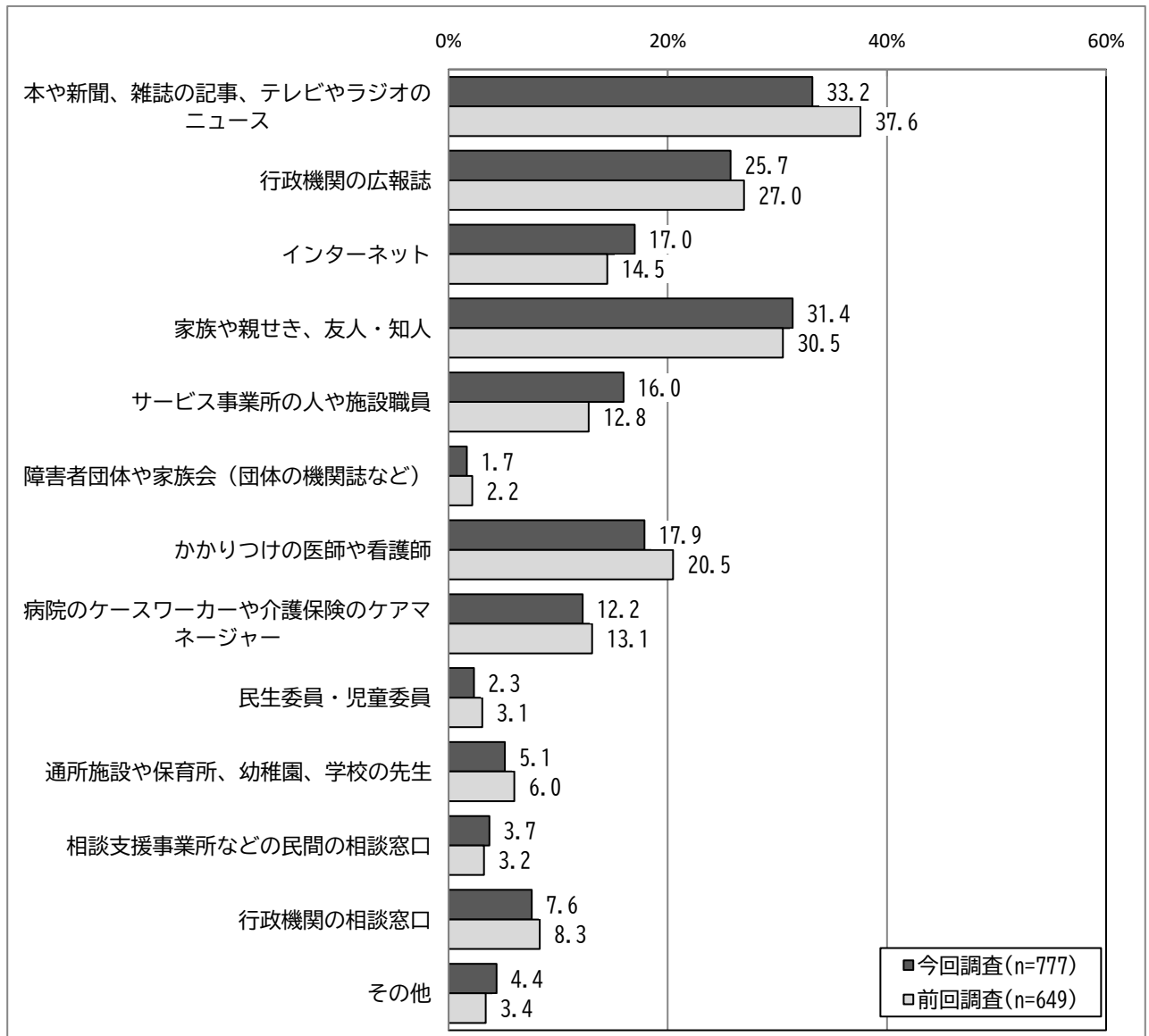
問33 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。（複数回答）

「家族や親せき」が71.0%で最も多く、次いで「かかりつけの医師や看護師」21.1%、「友人・知人」18.5%の順となっています。



問34 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。（複数回答）

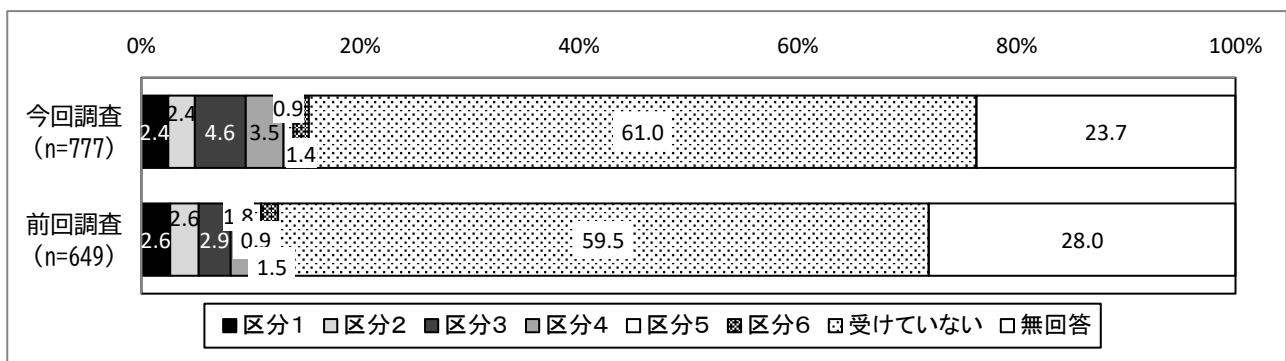
「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が33.2%で最も多く、次いで「家族や親せき、友人・知人」31.4%、「行政機関の広報誌」25.7%の順となっています。



障害福祉サービス等の利用について

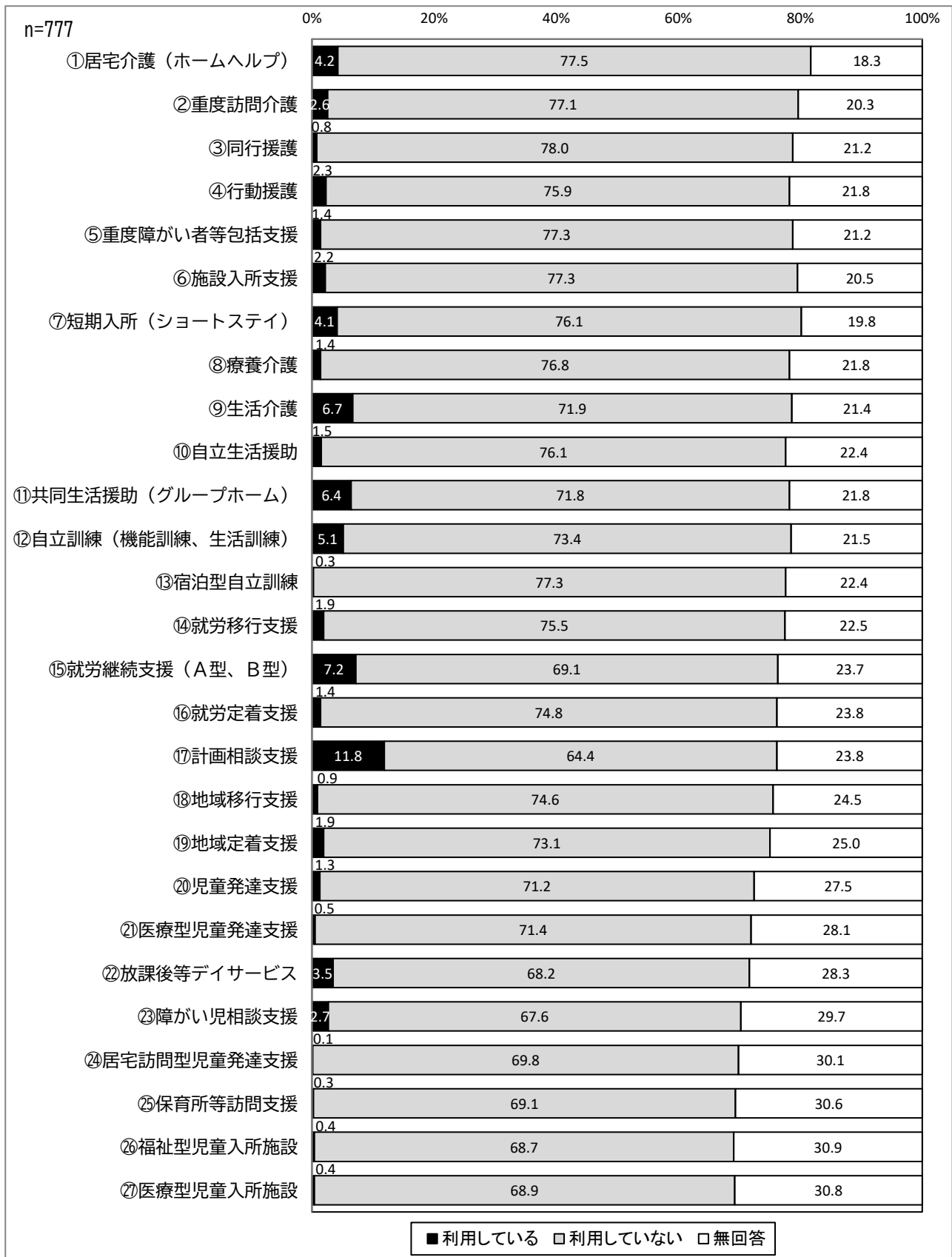
問35 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

「受けていない」が61.0%で最も多く、次いで「区分3」4.6%、「区分4」3.5%の順となっています。

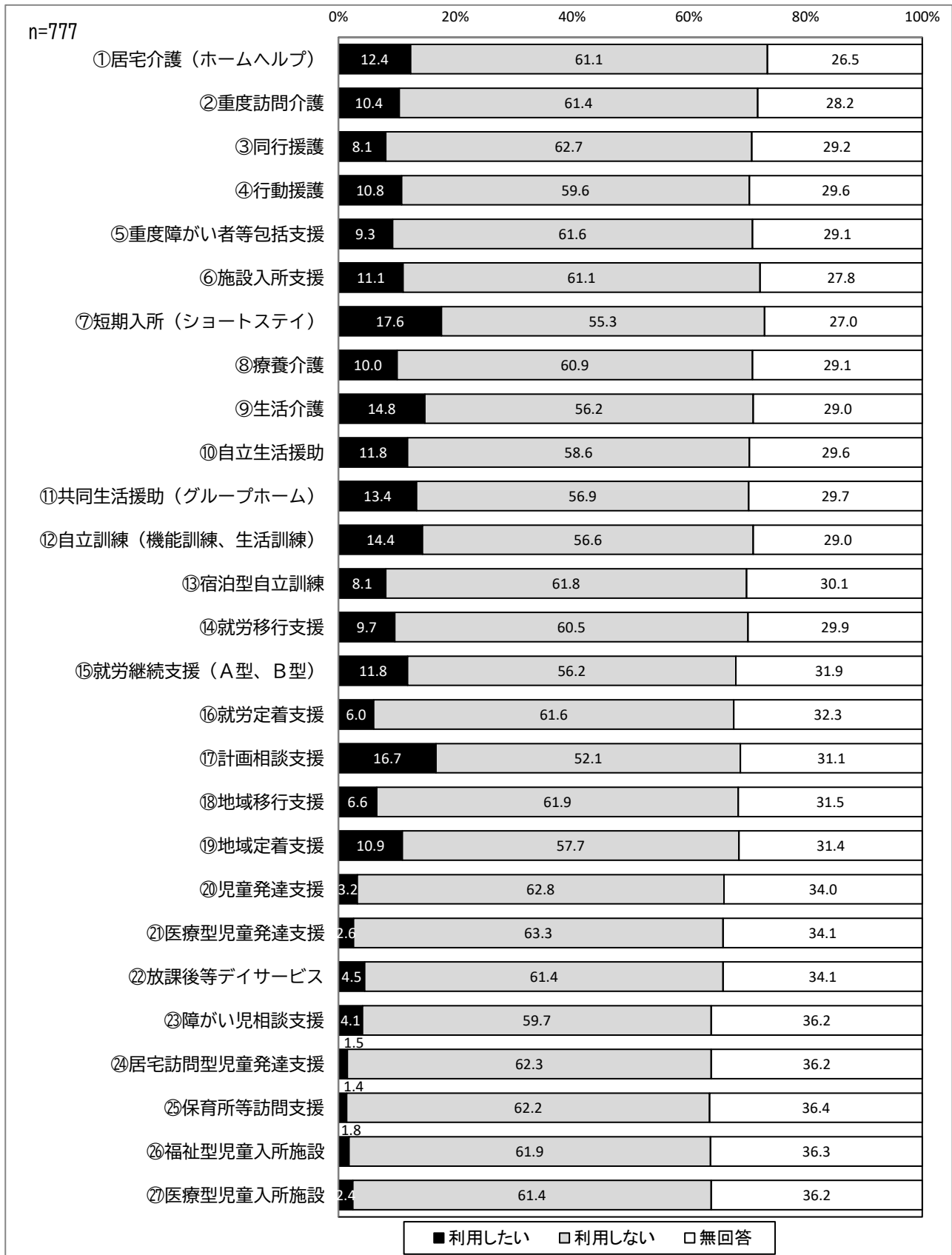


問36 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

現在の利用状況

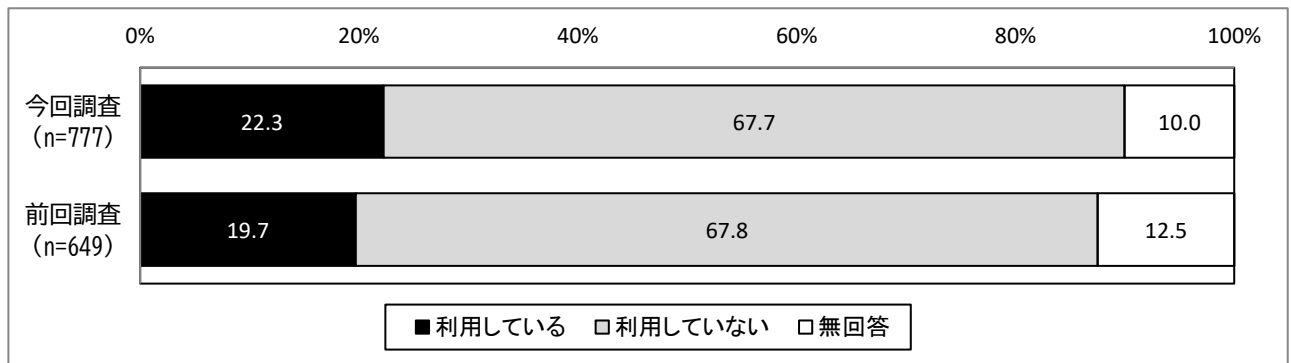


今後3年間の利用希望



問37 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。

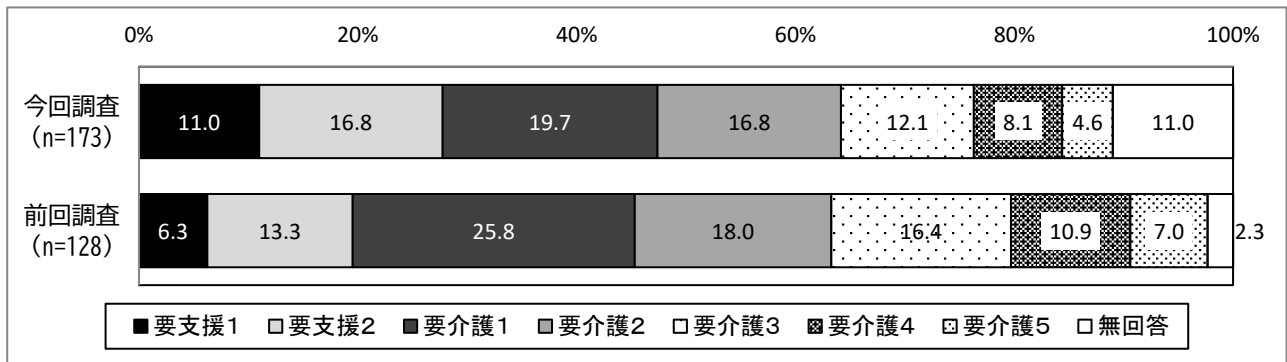
「利用している」が22.3%、「利用していない」が67.7%となっています。



問38は、問37で「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。

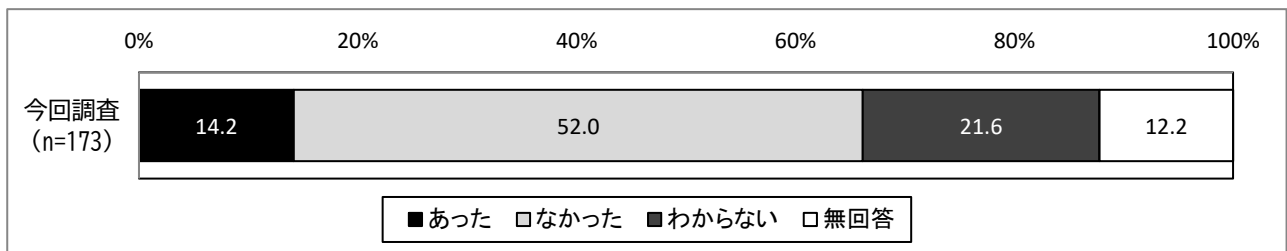
問38 該当する要介護度はどれですか。

「要介護1」が19.7%で最も多く、次いで「要支援2」「要介護2」16.8%、「要介護3」12.1%の順となっています。



問39 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、あなたの障害福祉サービスの利用に影響はありましたか。

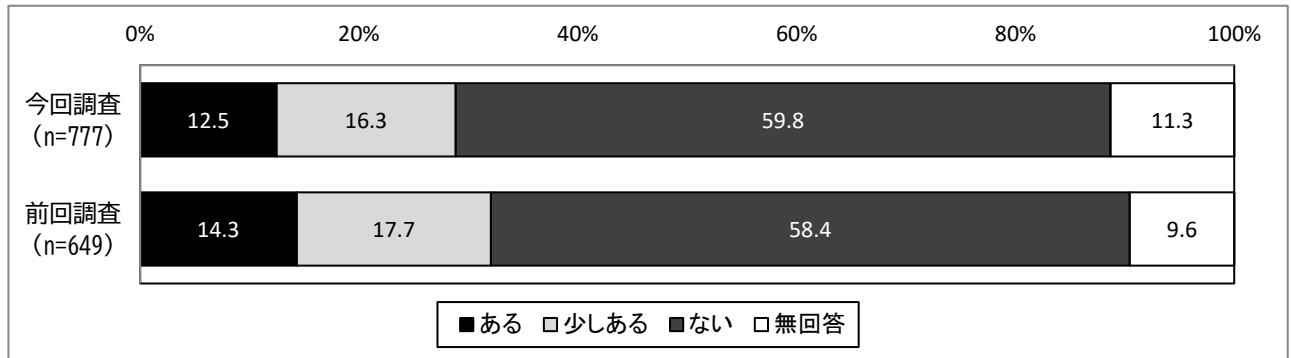
「なかった」が52.0%で最も多く、次いで「わからない」21.6%、「あった」14.2%の順となっています。



権利擁護について

問41 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

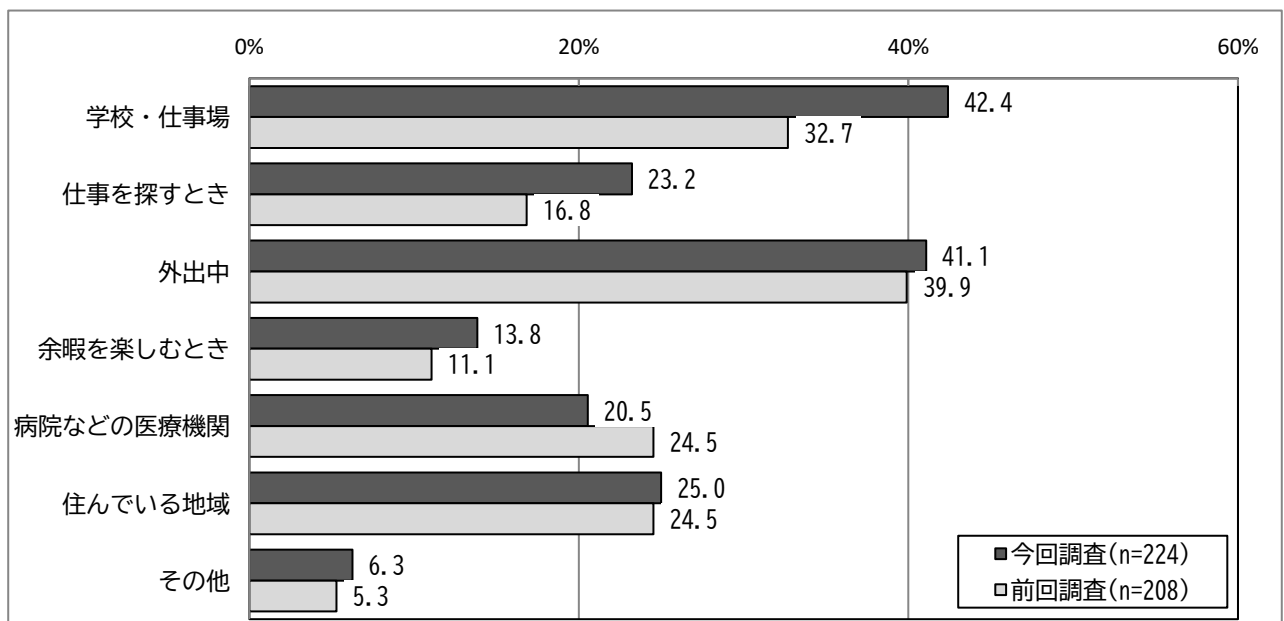
「ない」が59.8%で最も多く、次いで「少しある」16.3%、「ある」12.5%の順となっています。



問41で、1. 又は2. と回答された方にお聞きします。

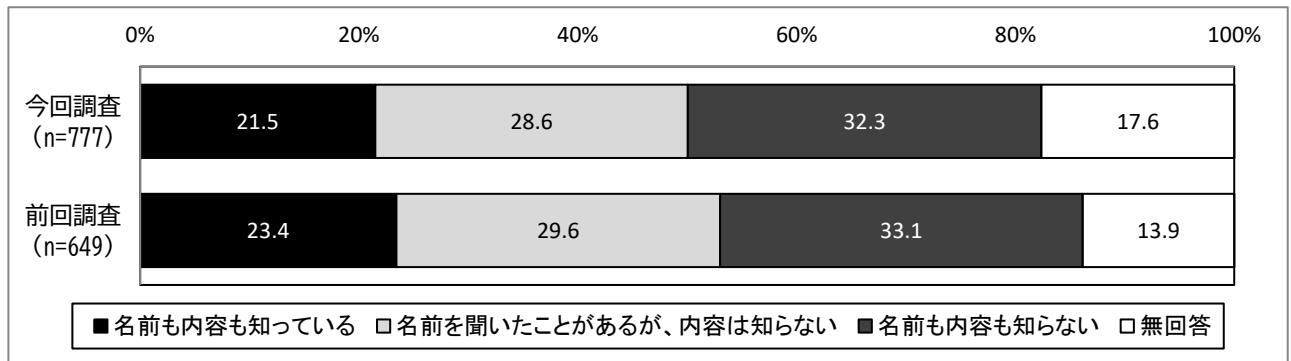
問42 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（複数回答）

「学校・仕事場」が42.4%で最も多く、次いで「外出中」41.1%、「住んでいる地域」25.0%の順となっています。



問43 成年後見制度についてご存じですか。

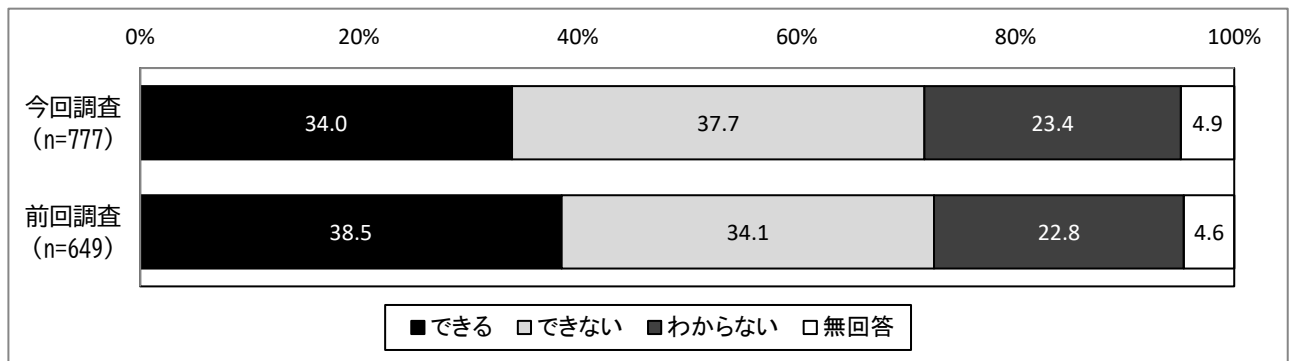
「名前も内容も知らない」が32.3%で最も多く、次いで「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」28.6%、「名前も内容も知っている」21.5%の順となっています。



災害時の避難等について

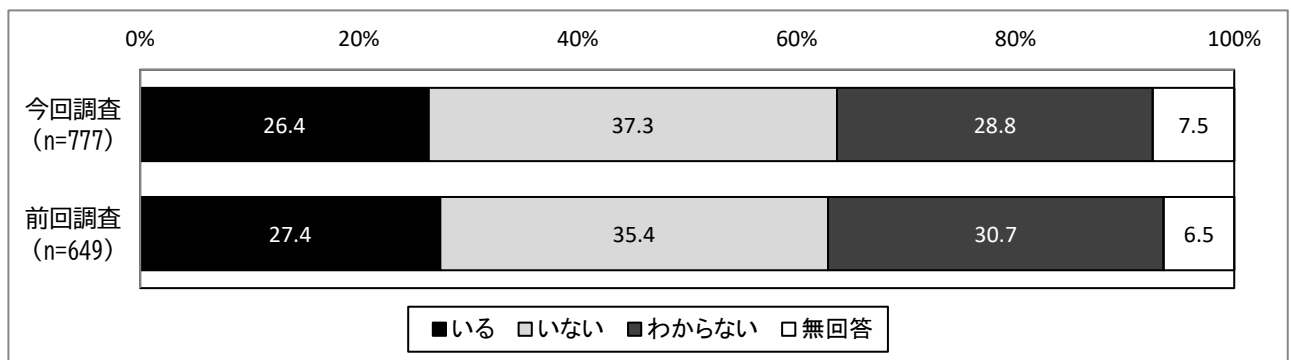
問44 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。

「できない」が37.7%で最も多く、次いで「できる」34.0%、「わからない」23.4%の順となっています。



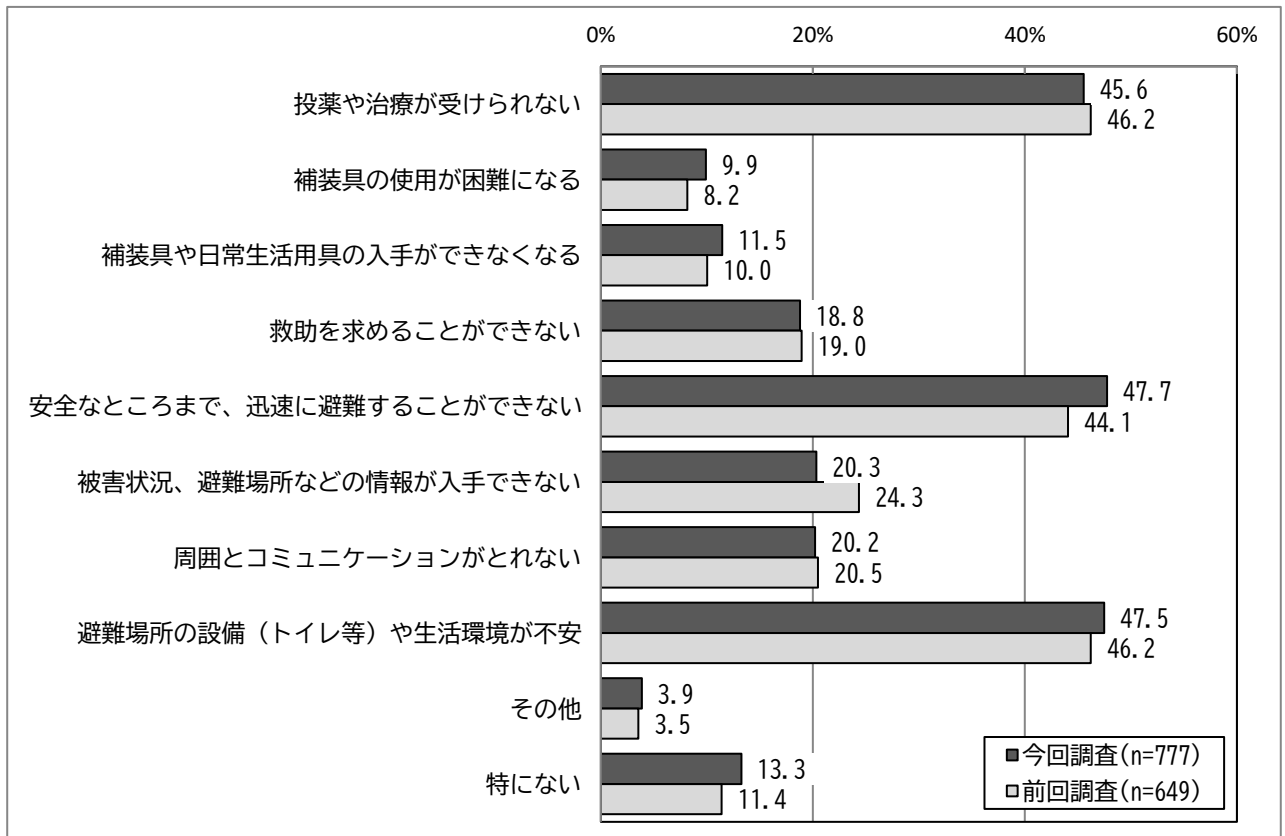
問45 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

「いない」が37.3%で最も多く、次いで「わからない」28.8%、「いる」26.4%の順となっています。



問46 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。（複数回答）

「安全なところまで、迅速に避難することができない」が47.7%で最も多く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」47.5%、「投薬や治療が受けられない」45.6%の順となっています。

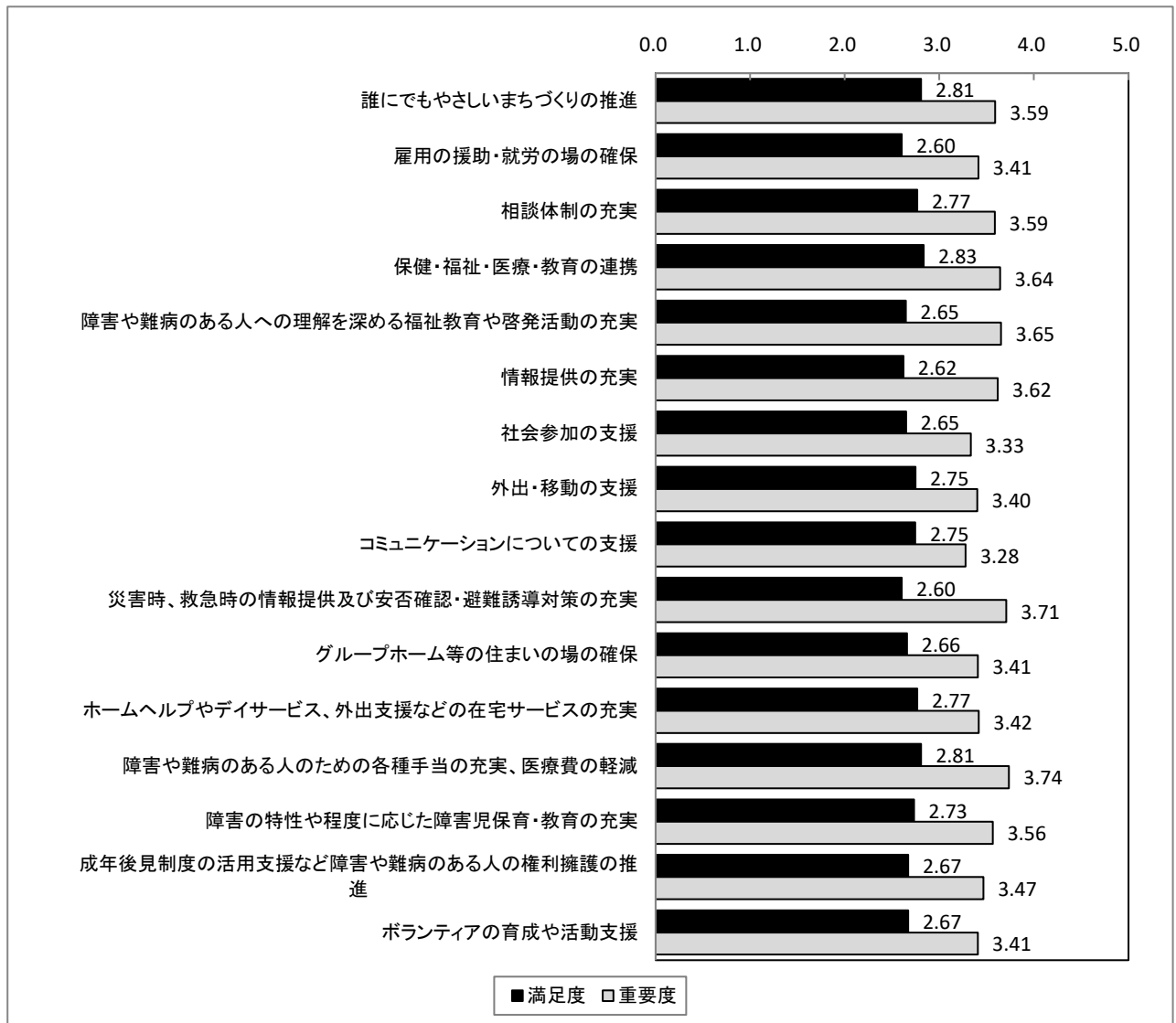


障害福祉施策等について

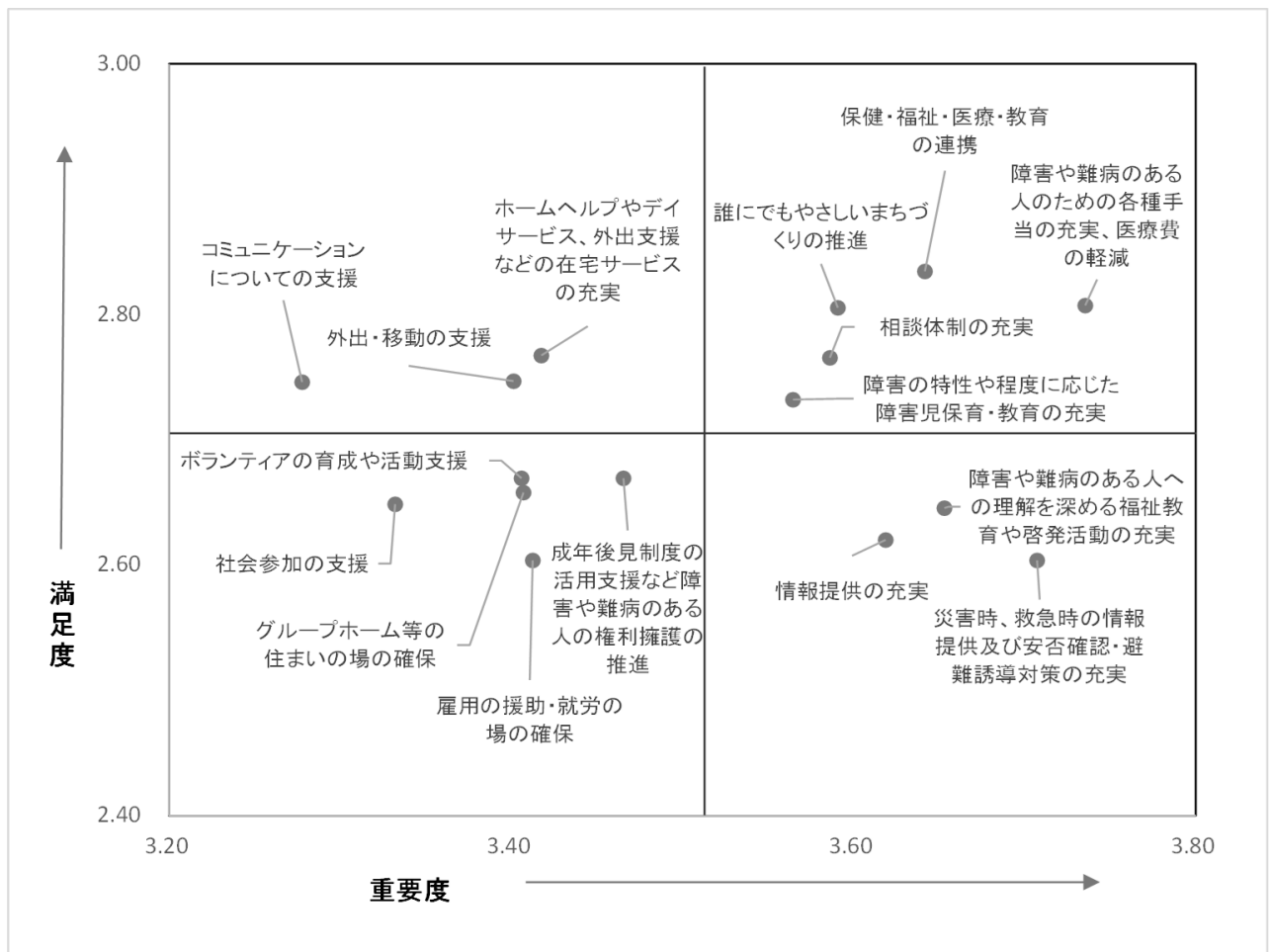
問47 今後、障害福祉を推進するうえで、どのようなことが重要だと思えますか。以下の項目について、今後の重要度と現在の満足度を教えて下さい。

障害福祉に関する取り組みにおける満足度と重要度を、満足度では「満足=4点」「やや満足=3点」「やや不満=2点」「不満=1点」とし、重要度では「重要=4点」「やや重要=3点」「あまり重要ではない=2点」「重要ではない=1点」として点数化し、項目ごとに比較しました。

最も重要度が高い取り組みは、「障害や難病のある人への理解を深める福祉教育や啓発活動の充実」の順となっており、満足度が高い取り組みとしては「保健・福祉・医療・教育の連携」、「障害や難病のある人への理解を深める福祉教育や啓発活動の充実」、「誰にでもやさしいまちづくりの推進」の順となっています。



また、満足度と重要度の相関をみると、重要度は高いものの満足度が低い施策としては、「災害時、救急時の情報提供及び安否確認・避難誘導対策の充実」、「障害や難病のある人への理解を深める福祉教育や啓発活動の充実」などがあがっています。



調査総括

1 回答者について

アンケート調査の回答者をみると、「女性」より「男性」の方が多く、年齢では「65歳以上」の高齢者が最も多く全体の6割以上を占めます。

居住地区においては「七重浜・追分」が多く全体の3割以上を占めます。

同居者では、「配偶者」が最も多く4割以上を占めますが、「いない」と回答した一人暮らしの方が全体の2割以上となっており、前回調査よりも増加しています。

日常生活において必要な支援（一部支援が必要+全部支援が必要）では、「外出の介助」が4割以上と最も多くなっており、次いで「お金の管理の援助」、「薬の管理の援助」となっています。

介護者では、「ホームヘルパーや施設の職員」が3割程度で最も多く、「父母・祖父母・兄弟姉妹」も同程度となっています。性別では「女性」が7割以上を占め、年齢では「19～64歳」が最も多く半数近くとなっているものの「65歳以上」の高齢者も同程度みられます。

介護者の健康状態に関しては、「ふつう」が6割程度を占めるものの、「よくない」も2割弱と前回調査より増加していることから、高齢や健康状態のよくない介助者を援助するためにも障害福祉サービスの利用促進が必要です。

また、18歳以下の支援者が若干数（12歳以下2.9%、13歳～15歳1.9%、16歳～18歳2.9%）みられます。

2 障害の状況について

身体障害者手帳所持者は、71.7%となっており、等級では「1級」、障害部位では「内部障害」が最も多くなっています。

療育手帳所持者は、20.6%となっており、判定では「B判定」が多くなっています。

精神障害者保健福祉手帳所持者は、11.6%となっており、等級では「2級」が最も多くなっています。

18歳未満のうち、重症心身障害の認定を受けている方は、21.4%となっています。

難病（指定難病）の認定は、6.4%、発達障害の診断は、11.1%、強度行動障害がある方は、4.6%、高次脳機能障害の診断は、6.0%、医療的ケアを受けている方は、25.6%となっています。

3 住まいや暮らしについて

現在一緒に暮らしている人では、「配偶者や父母などの家族と暮らしている」方が7割近くを占めますが、「一人で暮らしている」方も12.9%みられます。現在暮らしている場所では、「一般の住宅」が8割以上と最も多く、今後暮らしたい場所でも「一般の住宅」が8割近くと最も多くなっています。

また、希望する暮らしを送るために必要な支援では、「経済的な負担の軽減」が48.3%で最も多くなっていますが、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」も36.2%となっており、障害福祉サービスの重要性がみられます。

4 日中活動や就労について

1週間の外出頻度では、「毎日外出する」と「1週間に数回外出する」をあわせた「外出する」の回答が72.7%となっていますが、「めったに外出しない」と「まったく外出しない」をあわせた「外出しない」の回答も21.8%みられます。

外出する際の同伴者では、「一人で外出する」が36.1%と最も多く、次いで「配偶者」25.5%の順となっており、外出の目的では、「買い物に行く」が67.2%、「医療機関への受診」が63.3%と多くなっています。外出時に困ることでは、「公共交通機関が少ない(ない)」が22.9%で最も多く、次いで「困った時にどうすればいいのか心配」21.6%となっています。

平日の日中の過ごし方では、「自宅で過ごしている」が38.6%で最も多くなっていますが、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」も15.8%みられます。

「収入を得る仕事をしている」と回答した方に勤務形態をお聞きしたところ、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が45.5%でもっとも多く、次いで「自営業、農林水産業など」の22.0%となっています。

「収入を得る仕事をしていない18～64歳の方」に今後収入を得る仕事をしたいかを尋ねたところ、「仕事をしたい」は37.9%となっており、「仕事をしたい」と回答した方の4割近くは「職業訓練を受けたい」と回答しており、職業訓練などの重要性がみられました。

また、障害者の就労支援として必要だと思うことでは、「職場の障害者理解」や「職場の上司や同僚に障害の理解があること」などが多くなっており、障害を理解していただくための広報啓発が必要です。

5 相談相手について

悩みや困りごとなどの相談先は、「家族や親せき」が7割以上と最も多くなっていますが、「行政機関の相談窓口」は4.5%と非常に少なくなっています。

また、障害や福祉サービスなどに関する情報の入手先は、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が33.2%で最も多く、次いで「家族や親せき、友人・知人」31.4%、「行政機関の広報誌」25.7%の順となっています。

6 障害福祉サービス等の利用について

障害支援区分の認定を受けている人は、15.2%と少なくなっていますが、前回調査より若干増加しています。

障害福祉サービスの利用状況は、「計画相談支援」、「就労継続支援」、「生活介護」などが多くなっており、障害児向けのサービスでは、「放課後等デイサービス」「障がい児相談支援」などが多くなっています。

障害福祉サービスの利用希望では、「短期入所」、「計画相談支援」、「生活介護」などが多くなっており、障害児向けのサービスでは、「放課後等デイサービス」「障がい児相談支援」などが多くなっています。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う障害福祉サービスの利用への影響は、「あった」が14.2%となっています。

7 権利擁護について

障害による差別や嫌な思いをした経験が「ある」と答えた方が12.5%、「少しある」と答えた方が16.3%と、ともに前回調査より若干ですが少なくなっています。

また、差別や嫌な思いをしたことがある場所では、「学校・仕事場」が42.4%で最も多く、次いで「外出中」41.1%の順となっています。

成年後見制度の認知状況では、「名前も内容も知らない」「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」をあわせた「内容を知らない」とした回答は60.9%となっています。

障害者への偏見や差別をなくすため、障害者への理解の促進を踏まえた広報啓発を推進するとともに、成年後見制度に関する広報啓発も行う必要があります。

8 災害時の避難等について

災害時の避難に関しては、「一人でできない」が37.7%で最も多く、次いで「一人でできる」34.0%となっています。

家族が不在の場合や一人暮らしの場合に助けてくれる近所の人には、「いる」の26.4%に対し、「いない」は37.3%と多くなっています。災害時に支援が必要な方への支援策の徹底を行うとともに、防災意識の啓発や活動の促進、防災訓練などを通じて、防災力を高めていくことが重要です。

火事や地震等の災害時に困ることでは、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が最も多く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」、「投薬や治療が受けられない」の順となっていることなどから、障害者に配慮した災害対策が求められています。

9 障害福祉施策等について

障害福祉を推進するうえで必要な取り組みとして、最も重要度が高い取り組みは、「障害や難病のある人のための各種手当の充実、医療費の軽減」次いで、「災害時、救急時の情報提供及び安否確認・避難誘導対策の充実」、「障害や難病のある人への理解を深める福祉教育や啓発活動の充実」の順となっており、満足度が高い取り組みとしては「保健・福祉・医療・教育の連携」、「障害や難病のある人のための各種手当の充実、医療費の軽減」、「誰にでもやさしいまちづくりの推進」の順となっています。

重要度は高いものの満足度が低い施策としては、「災害時、救急時の情報提供及び安否確認・避難誘導対策の充実」、「障害や難病のある人への理解を深める福祉教育や啓発活動の充実」などがあがっていることから、今後、市として重点的に取り組まなければいけない施策だと考えられます。